



東証：4502

TAK  
LISTED  
NYSE

# 成長と株主還元への コミットメント

2025年度第3四半期決算発表

2026年1月29日



# 重要な注意事項



本注意事項において、「プレゼンテーション（presentation）」とは、本プレゼンテーションに関する武田薬品工業株式会社（以下、「武田薬品」）によって説明又は配布された本書類並びに一切の口頭のプレゼンテーション、質疑応答及び書面又は口頭の資料を意味します。本プレゼンテーション（それに関する口頭の説明及び質疑応答を含みます）は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申込み、交換、売却その他の処分の提案、案内若しくは勧誘又はいかなる投票若しくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明又は形成するものではなく、またこれを行うことを意図しておりません。本プレゼンテーションにより株式又は有価証券の募集を公に行うものではありません。米国 1933 年証券法の登録又は登録免除の要件に基づいて行うものを除き、米国において有価証券の募集は行われません。本プレゼンテーションは、（投資、取得、処分その他の取引の検討のためではなく）情報提供のみをして受領者により使用されるという条件の下で（受領者に対して提供される追加情報と共に）提供されております。当該制限を遵守しなかった場合には、適用のある証券法違反となる可能性があります。

武田薬品が直接的に、又は間接的に投資している会社は別々の会社になります。本プレゼンテーションにおいて、「武田薬品」という用語は、武田薬品及びその子会社全般を参照するものとして便宜上使われていることがあります。同様に、「当社（we, us及びour）」という用語は、子会社全般又はそこで勤務する者を参照していることもあります。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることがあります。

本プレゼンテーションに記載されている製品名は、武田薬品又は各所有者の商標又は登録商標です。

## 将来に関する見通し情報

本プレゼンテーション及び本プレゼンテーションに関して配布された資料には、武田薬品の見積もり、予測、目標及び計画を含む武田薬品の将来の事業、将来のポジション及び業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする（targets）」、「計画する（plans）」、「信じる（believes）」、「望む（hopes）」、「継続する（continues）」、「期待する（expects）」、「めざす（aims）」、「意図する（intends）」、「確実にする（ensures）」、「だろう（will）」、「かもしれない（may）」、「すべきであろう（should）」、「であろう（would）」、「かもしれない（could）」、「予想される（anticipates）」、「見込む（estimates）」、「予想する（projects）」、「予測する（forecasts）」、「見通し（outlook）」などの用語若しくは同様の表現又はそれらの否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。

これら将来見通し情報は、多くの重要な要因に関する前提に基づいており、実際の結果は、将来見通し情報において明示又は暗示された将来の結果とは大きく異なる可能性があります。その重要な要因には、日本及び米国の一般的な経済条件並びに国際貿易関係に関する状況を含む武田薬品のグローバルな事業を取り巻く経済状況、競合製品の出現と開発、薬価、税金、関税その他の貿易関連規則を含む関連法規の変更、臨床的成功及び規制当局による判断とその時期の不確実性を含む新製品開発に内在する困難、新製品及び既存製品の商業的成功の不確実性、製造における困難又は遅延、金利及び為替の変動、市場で販売された製品又は候補製品の安全性又は有効性に関するクレーム又は懸念、新規コロナウイルス・パンデミックのような健康危機、温室効果ガス排出量の削減又はその他環境目標の達成を可能にする武田薬品の環境・サステナビリティに対する取り組みの成功、人工知能（AI）を含むデジタル技術の統合をはじめとする、業務効率化、生産性向上又はコスト削減に向けた武田薬品の取り組み、その他の事業再編に向けた取り組みが、期待されるペネフィットに寄与する程度、武田薬品のウェブサイト（<https://www.takeda.com/jp/investors/sec-filings-and-security-reports/>）又はwww.sec.govにおいて閲覧可能な米国証券取引委員会に提出したForm 20-Fによる最新の年次報告書並びに武田薬品の他の報告書において特定されたその他の要因が含まれます。武田薬品は、法律や証券取引所の規則により要請される場合を除き、本プレゼンテーションに含まれる、又は武田薬品が提示するいかなる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また、本プレゼンテーションにおける武田薬品の経営結果及び情報は武田薬品の将来の経営結果を示すものではなく、また、その予測、予想、保証又は見積もりではありません。

## 財務情報及び国際会計基準に準拠しない財務指標

武田薬品の財務諸表は、国際会計基準（以下、「IFRS」）に基づいて作成されております。本プレゼンテーション及び本プレゼンテーションに関する武田薬品の業績評価並びに経営及び投資判断を、IFRS及び本報告書に含まれるIFRSに準拠しない財務指標に基づいて行っています。IFRSに準拠しない財務指標においては、最も良く対応するIFRS財務指標では含まれることとなる、又は異なる数値となる一定の利益、コスト及びキャッシュ・フロー項目を除外しております。IFRSに準拠しない財務指標は、IFRSに準拠するものではなく、付加的なものであり、また、IFRSに準拠する財務指標に代替するものではありません（IFRSに準拠する財務指標を「財務ベース」指標として参照している場合があります）。投資家の皆様におかれましては、IFRSに準拠しない財務指標につき、その定義と、これらに最も良く対応するIFRS準拠財務指標との調整表をご参考くださいますようお願い申しあげます。

## 便利的な米ドル換算

本プレゼンテーションにおける一部日本円表示の米ドルへの換算は、特に断りのない限り、読者に対して便宜的に表示するためのものであり、ニューヨーク連邦準備銀行によって認証されている2025年12月31日時点の換算レート「Noon Buying Rate : 1米ドル=156.80円」で換算しています。便利的な米ドル換算に用いられている換算レートおよび方法は、当社の連結財務諸表の作成で用いられた国際会計基準（IFRS）に準拠した換算レートおよび方法とは異なります。また、これらの米ドル換算は、円貨額が上記もしくはそれ以外の換算レートを用いて米ドルへ転換できるということを意味するものではありません。

## 医療情報

本プレゼンテーションには、製品に関する情報が含まれておりますが、それらの製品は、すべての国で発売されているものではなく、また国によって異なる商標、効能、用量等で販売されている場合もあります。ここに記載されている情報は、開発品を含むいかなる医療用医薬品を勧誘、宣伝又は広告するものではありません。

# AGENDA

## 1. オープニングリマーカス

クリストフ・ウェバー 代表取締役社長 CEO



## 2. 財務ハイライト

古田 未来乃 チーフ フィナンシャル オフィサー



## 3. パイプラインアップデート

アンディー・プランプ リサーチ&デベロップメント プレジデント



## 4. クロージングリマーカス

クリストフ・ウェバー 代表取締役社長 CEO  
ジュリー・キム 次期CEO



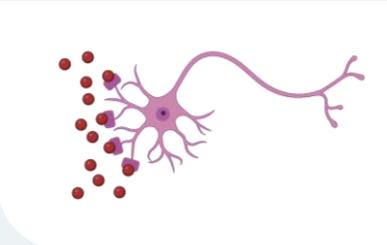
## 5. 質疑応答

# 今後18ヵ月で3つの革新的な新薬を上市予定 当社は新たな成長局面へ



## Oveporexton

ナルコレプシータイプ1



ナルコレプシータイプ1（NT1）の幅広い  
症状に対し確固たる有効性が示された  
初のオレキシン作動薬として  
承認申請を提出

NT1治療におけるパラダイムシフトの  
契機となり得る

### 上市予定

2026年（下期）

## Rusfertide

真性多血症



持続的かつ長期にわたり  
ヘマトクリットをコントロールし、  
重大なアンメット・ニーズに対応する  
ヘプシジンミメティックス（類似薬）

各段階の治療における  
革新的な成果を目指す

### 上市予定

2026年（下期）

## Zasocitinib

乾癬



高い選択性を有するTYK2阻害剤  
1日1回の経口治療法として  
乾癬治療に対する確固たるプロファイル

先進的治療薬における  
経口薬市場の変革と拡大を目指す

### 上市予定

2027年（上期）

# AGENDA

## 1. オープニングリマーカス

クリストフ・ウェバー 代表取締役社長 CEO

## 2. 財務ハイライト

古田 未来乃 チーフ フィナンシャル オフィサー



## 3. パイプラインアップデート

アンディー・プランプ リサーチ&デベロップメント プレジデント

## 4. クロージングリマーカス

クリストフ・ウェバー 代表取締役社長 CEO

ジュリー・キム 次期CEO

## 5. 質疑応答

# 2025年度第3四半期累計：VYVANSEの後発品による影響は縮小傾向 営業経費を厳格に管理し、Core営業利益への影響を抑制



## 2025年度第3四半期累計（4-12月）連結業績（サマリー）

(億円、EPSを除く)	財務ベース		
	2025年度 第3四半期累計	2024年度 第3四半期累計	実勢レートベース 増減率 (%)
売上収益	34,112	35,282	△3.3%
営業利益	4,224	4,175	+1.2%
営業利益率	12.4%	11.8%	+0.5pp
当期利益	2,161	2,111	+2.4%
EPS	137円	134円	+2.7%
営業活動による キャッシュ・フロー	9,669	8,350	+15.8%
調整後 フリー・キャッシュ・フロー <sup>3</sup>	6,259	5,683	+10.1%

CORE <sup>1</sup>			
2025年度 第3四半期累計	2024年度 第3四半期累計	実勢レートベース 増減率 (%)	CER <sup>2</sup> ベース 増減率 (%)
34,112	35,282	△3.3%	△2.8%
9,716	10,063	△3.4%	△3.4%
28.5%	28.5%	△0.0pp	
6,736	6,989	△3.6%	△3.4%
428円	443円	△3.3%	△3.1%

1. Core財務指標の定義はA-1ページ、調整表はA-8、A-10ページをご参照下さい。

2. Constant Exchange Rate : 恒常為替レート。定義はA-1ページをご参照下さい。

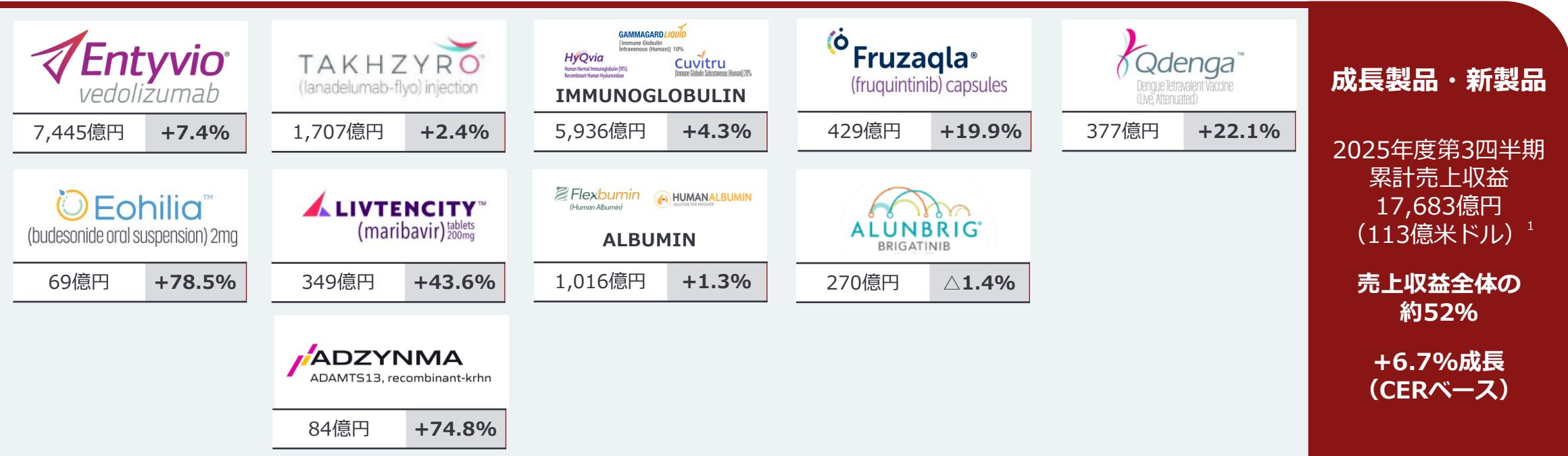
3. 定義はA-2ページ、調整表はA-12ページをご参照下さい。

# 2025年度第3四半期累計：成長製品・新製品は+6.7%成長（CERベース） 成長率は前四半期と比べ改善



## 6つの主要なビジネスエリアでバランスの取れたポートフォリオ

<b>消化器系疾患</b>	<b>希少疾患</b>	<b>血漿分画製剤 (PDT)</b>	<b>オンコロジー</b>	<b>ワクチン</b>	<b>ニューロサイエンス (神経精神疾患)</b>
対売上収益比：32% 対前年比（CERベース）：+4.6%	対売上収益比：17% 対前年比（CERベース）：△0.6%	対売上収益比：23% 対前年比（CERベース）：+1.9%	対売上収益比：13% 対前年比（CERベース）：+2.0%	対売上収益比：2% 対前年比（CERベース）：+8.0%	対売上収益比：9% 対前年比（CERベース）：△30.4%



絶対値は国際会計基準（IFRS）財務ベースの2025年度第3四半期累計業績、成長率は恒常為替レート（Constant Exchange Rate : CER）ベースの対前年比（定義はA-1ページをご参照下さい）。

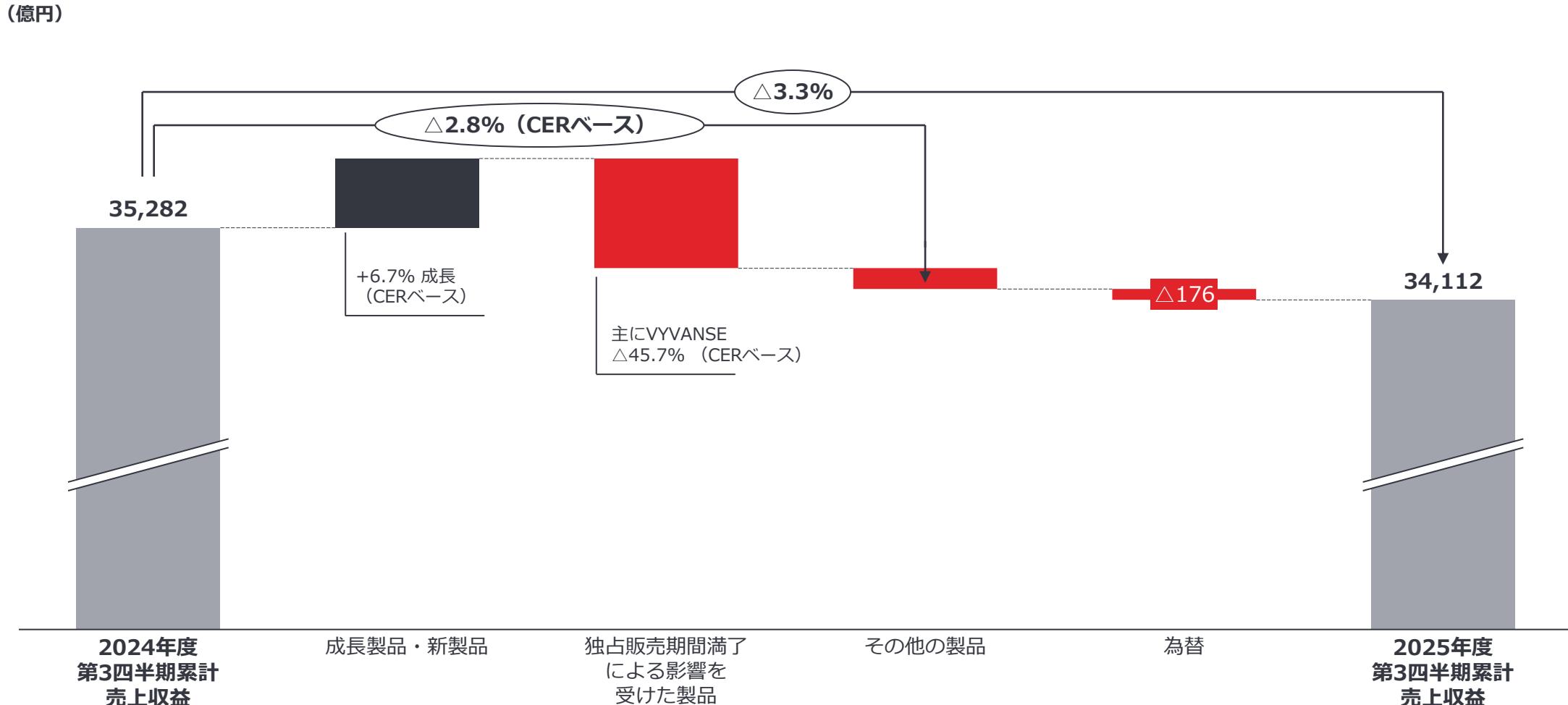
対売上収益比は2025年度第3四半期累計の売上収益。

1. 為替レートに関する免責事項は2ページをご参照下さい。

# 2025年度第3四半期累計 売上収益： 成長製品・新製品の增收幅とVYVANSEの減収幅のギャップは縮小



## 2025年度第3四半期累計（4-12月） 売上収益（対前年度）



上記は参考図

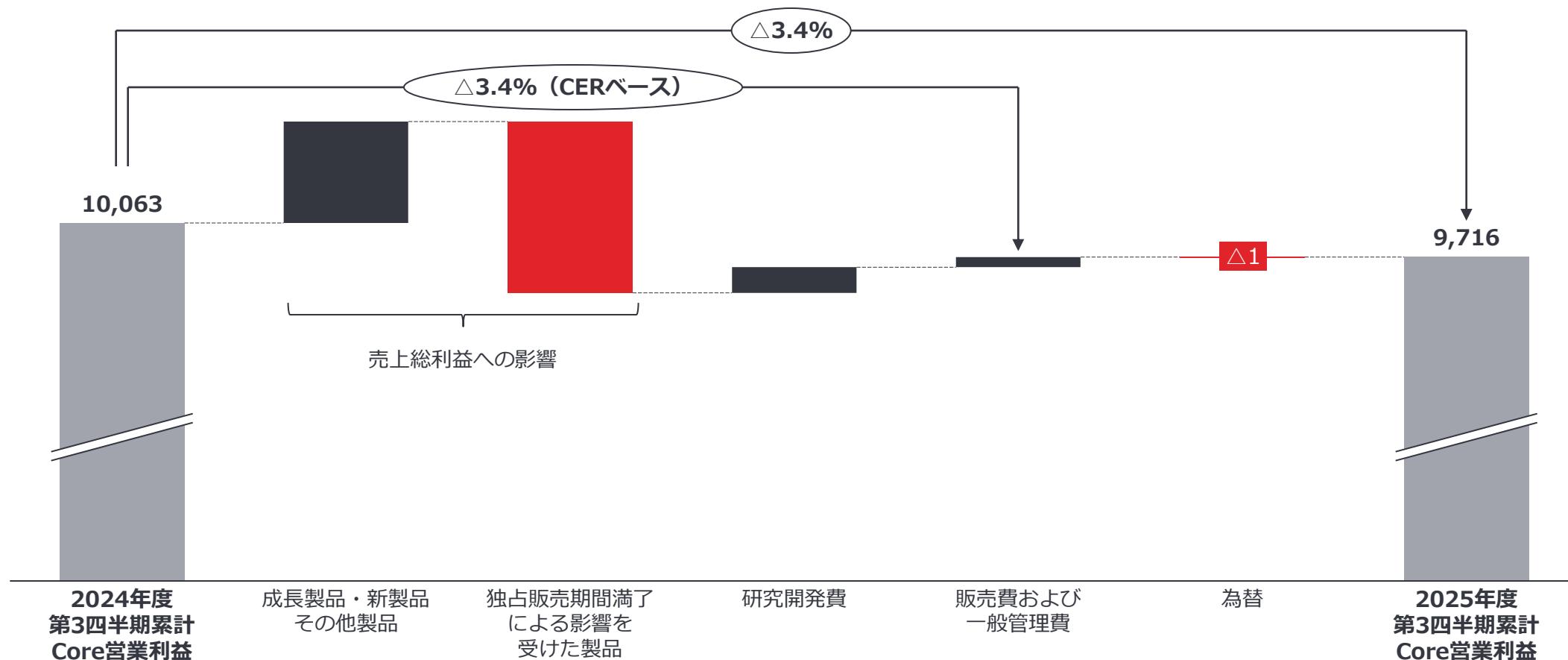
2025年度第3四半期累計と2024年度第3四半期累計の比較において、財務ベース売上収益からCore売上収益への調整が発生しなかったため、いずれの年度も財務ベース売上収益とCore売上収益は同額です。

# 2025年度第3四半期累計 Core営業利益：事業運営における効率化の効果により 研究開発費と販売費および一般管理費を対前年で削減



## 2025年度第3四半期累計（4-12月） CORE営業利益（対前年度）

(億円)



上記は参考図

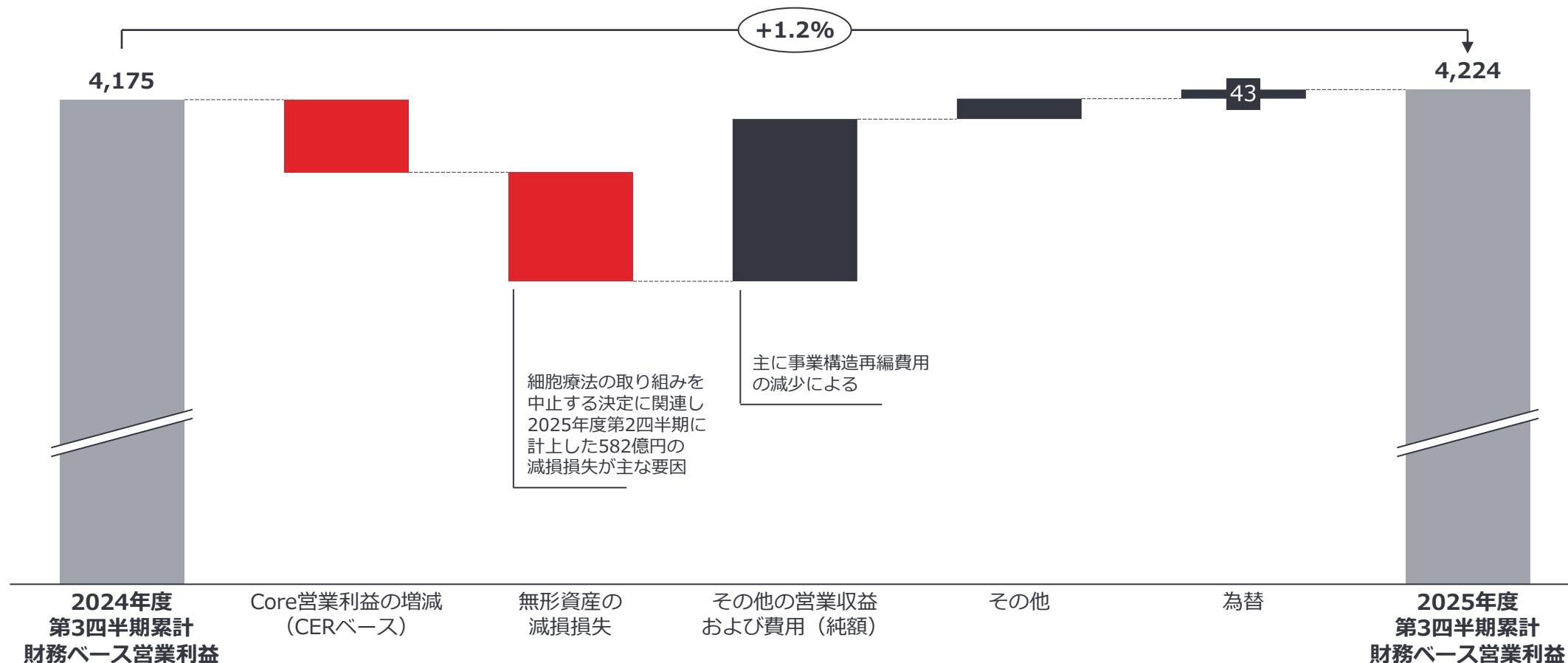
Core営業利益は国際会計基準に準拠しない財務指標です。定義および調整表は参考資料をご参照下さい。

# 2025年度第3四半期累計 財務ベース営業利益： 事業構造再編費用の減少が減損損失の影響を上回る



## 2025年度第3四半期累計（4-12月） 財務ベース営業利益（対前年度）

(億円)



# 2025年度通期の売上収益ガイダンスは、主にVYVANSEの減収影響により修正 財務ベースおよびCoreの予想は為替のプラス影響を反映し上方修正



	CORE増減率（CERベース）（マネジメントガイダンス）	
	前回公表ガイダンス（2025年10月）	今回公表ガイダンス（2026年1月）
売上収益	概ね横ばい	一桁台前半%の減少
CORE営業利益	一桁台前半%の減少	一桁台前半%の減少
CORE EPS	一桁台前半%の減少	一桁台前半%の減少

- 売上収益の増減（CERベース）に関するガイダンスは、米国におけるVYVANSEの後発品による想定以上の減収影響を含む製品モメンタムを反映し修正
- Core営業利益およびCore EPSのガイダンスは維持継続的な営業経費の規律ある管理がVYVANSE減少による売上総利益への影響を緩和

(億円、EPSを除く)	財務ベース		CORE	
	前回予想	今回予想	前回予想	今回予想
売上収益	45,000	→ 45,300	45,000	→ 45,300
営業利益	4,000	→ 4,100	11,300	→ 11,500
EPS	97円	→ 98円	479円	→ 486円
調整後フリー・キャッシュ・フロー			6,000 - 7,000	→ 6,500 - 7,500
1株当たり年間配当金			200円 (変更なし)	

注：当社の2025年度業績予想は、関税の影響（例：欧州連合（EU）および日本から米国に輸入される医薬品に対する15%の関税）に関する最新の想定、ならびに関税措置による影響を最小化するために当社が実施している在庫管理を含めた緩和策を反映したものです。

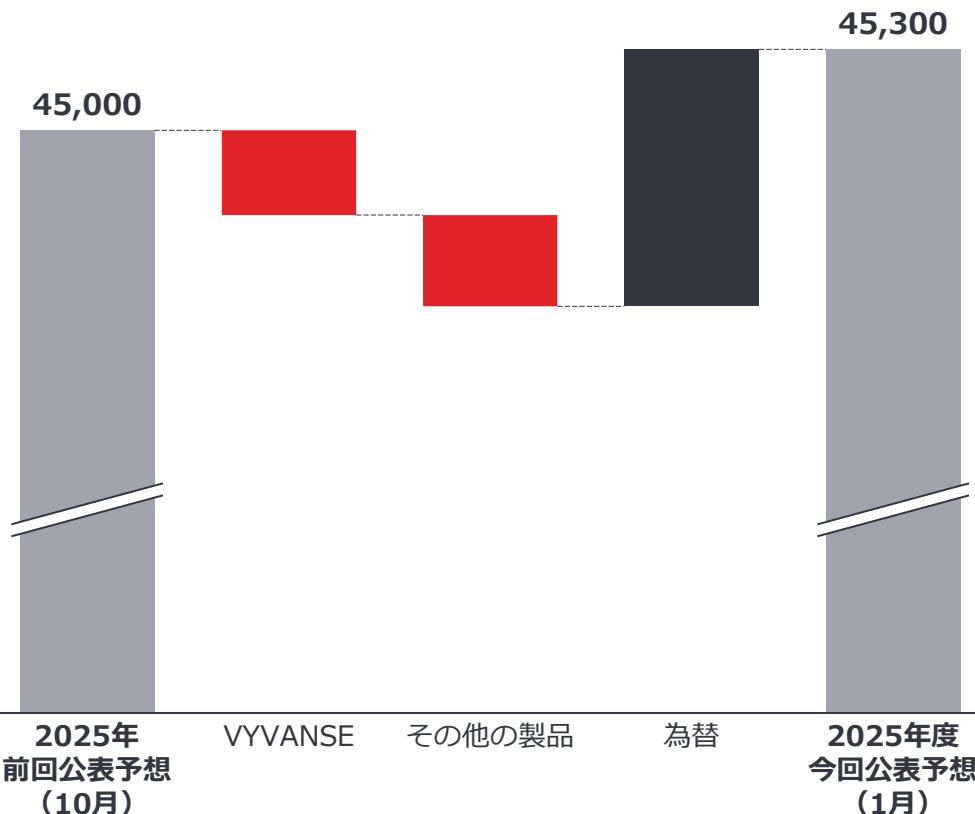
• 更新された前提為替レート（通期平均）：  
**米ドル：147円→150円**  
**ユーロ：170円→174円**

# 継続的な規律ある営業経費の管理がVYVANSEの減少影響を完全に吸収 為替によるプラス影響も反映し、Core営業利益予想を上方修正

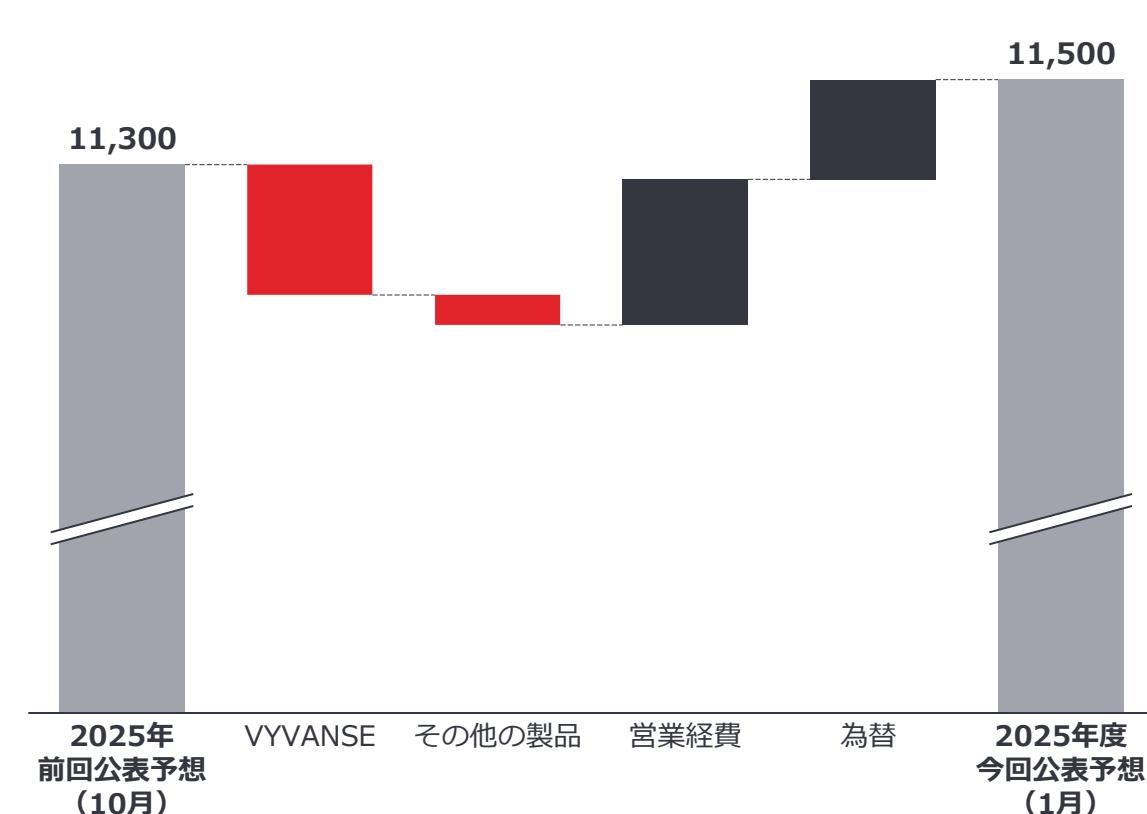


2025年度 売上収益予想（対10月公表予想）

（億円）



2025年度 CORE営業利益予想（対10月公表予想）



上記は参考図

Core営業利益は国際会計基準に準拠しない財務指標です。定義および調整表は参考資料をご参照下さい。

# AGENDA

## 1. オープニングリマーカス

クリストフ・ウェバー 代表取締役社長 CEO

## 2. 財務ハイライト

古田 未来乃 チーフ フィナンシャル オフィサー

## 3. パイプラインアップデート

アンディー・プランプ リサーチ&デベロップメント プレジデント



## 4. クロージングリマーカス

クリストフ・ウェバー 代表取締役社長 CEO

ジュリー・キム 次期CEO

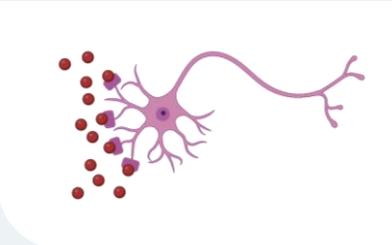
## 5. 質疑応答

# 今後18ヵ月で3つの革新的な新薬を上市予定 当社は新たな成長局面へ



## Oveporexton

ナルコレプシータイプ1



ナルコレプシータイプ1（NT1）の幅広い  
症状に対し確固たる有効性が示された  
初のオレキシン作動薬として  
承認申請を提出

NT1治療におけるパラダイムシフトの  
契機となり得る

### 上市予定

2026年（下期）

## Rusfertide

真性多血症



持続的かつ長期にわたり  
ヘマトクリットをコントロールし、  
重大なアンメット・ニーズに対応する  
ヘプシジンミメティックス（類似薬）

各段階の治療における  
革新的な成果を目指す

### 上市予定

2026年（下期）

## Zasocitinib

乾癬



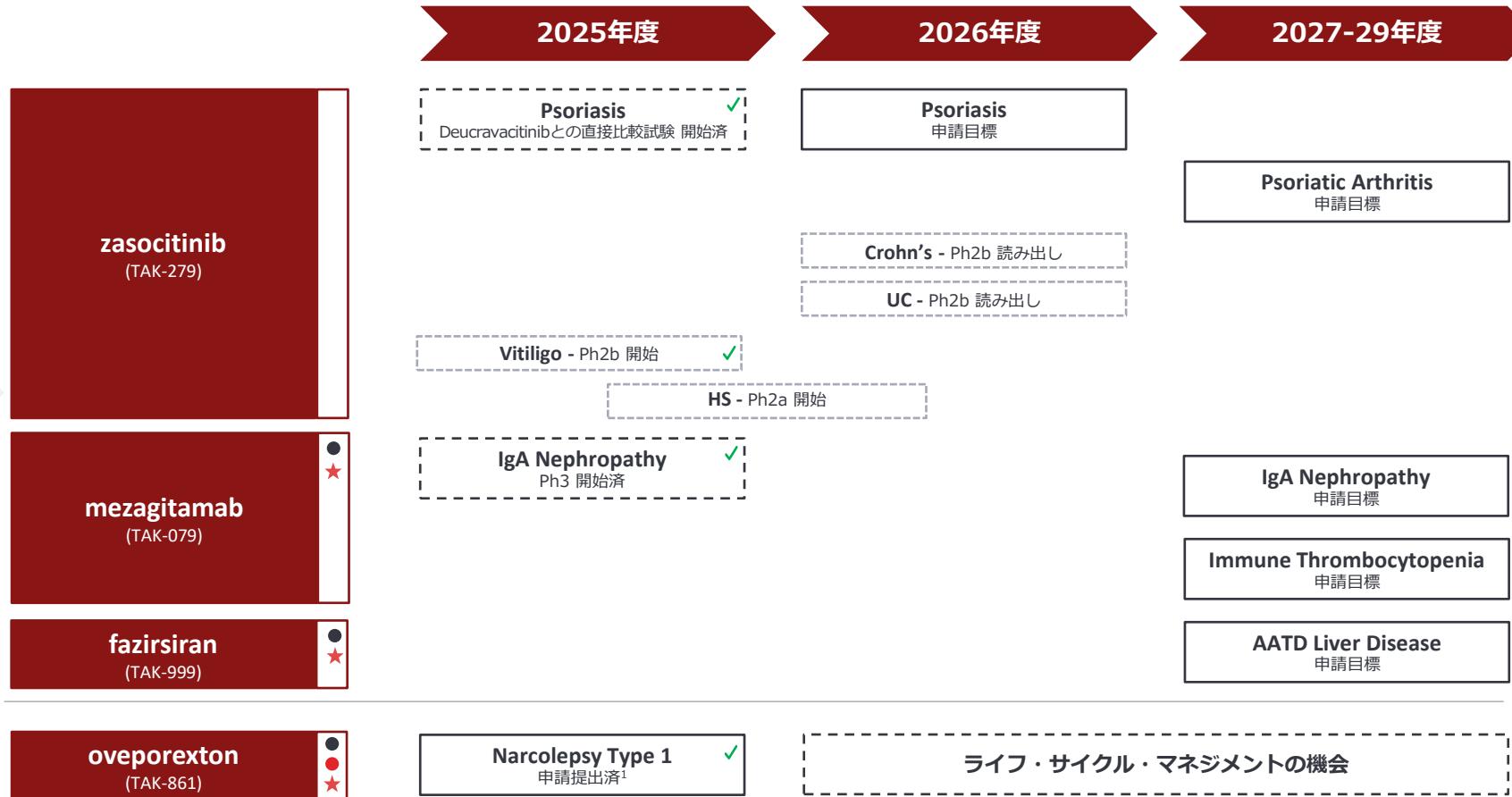
高い選択性を有するTYK2阻害剤  
1日1回の経口治療法として  
乾癬治療に対する確固たるプロファイル

先進的治療薬における  
経口薬市場の変革と拡大を目指す

### 上市予定

2027年（上期）

# 患者さんの人生を一変させ、大きな価値をもたらす可能性を持つ 後期開発パイプラインの進展が加速



- 少なくとも1つの適応症において、ブレークスルーセラピー指定（米国）、PRIME指定（欧州）
- 少なくとも1つの適応症において、先駆け審査指定（日本）、ブレークスルーセラピー指定（中国）
- ★ 少なくとも1つの適応症において、希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）指定

後期開発プログラム：ピボタル試験の段階またはブルーフ・オブ・コンセプトを達成プログラム

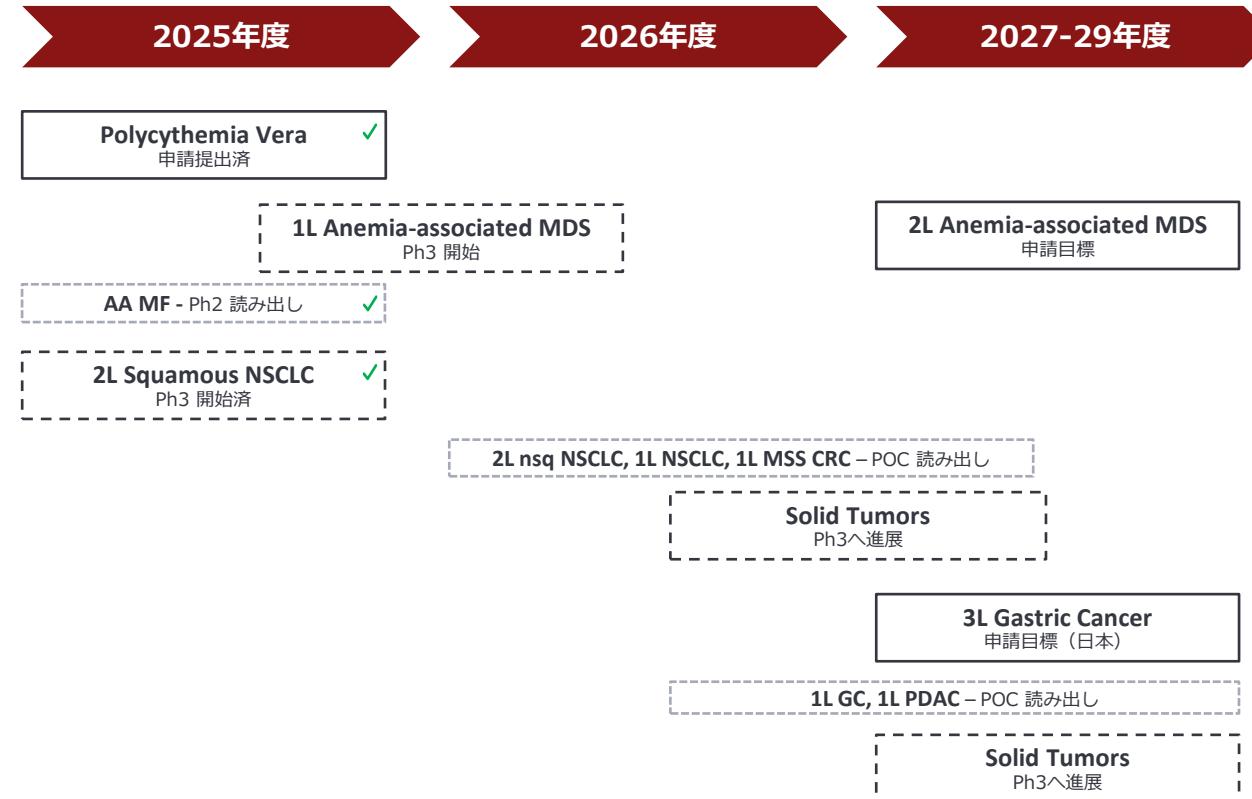
- 承認
- 申請目標：承認申請の予想時期
- !-! ピボタル試験開始目標/臨床第3相試験開始目標

- [---] ブルーフ・オブ・コンセプト/用量設定臨床第2相試験
- ✓ マイルストン達成

1. Oveporextonは米国食品医薬品局（FDA）に対し承認申請を提出済みで受理は未了、日本において段階的申請を開始。中国において申請済み。

15 全てのタイムラインは2026年1月29日時点におけるおおよその予測で、変更される場合があり、また臨床試験・承認申請の結果に左右されます。表中の研究開発マイルストンは包括的なものではありません。疾患名等の略語用語集は参考資料をご参照下さい。

# 患者さんの人生を一変させ、大きな価値をもたらす可能性を持つ 後期開発パイプラインの進展が加速



- 少なくとも1つの適応症において、ブレークスルーセラピー指定（米国）、PRIME指定（欧州）
- 少なくとも1つの適応症において、先駆け審査指定（日本）、ブレークスルーセラピー指定（中国）
- ★ 少なくとも1つの適応症において、希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）指定

後期開発プログラム：ピボタル試験の段階またはブルーフ・オブ・コンセプトを達成プログラム

- 承認
- 申請目標：承認申請の予想時期
- ピボタル試験開始目標/臨床第3相試験開始目標

- ブルーフ・オブ・コンセプト/用量設定臨床第2相試験
- ✓ マイルストン達成

# AGENDA

## 1. オープニングリマーカス

クリストフ・ウェバー 代表取締役社長 CEO

## 2. 財務ハイライト

古田 未来乃 チーフ フィナンシャル オフィサー

## 3. パイプラインアップデート

アンディー・プランプ リサーチ&デベロップメント プレジデント

## 4. クロージングリマーカス

クリストフ・ウェバー 代表取締役社長 CEO

ジュリー・キム 次期CEO

## 5. 質疑応答



# 未来へと繋ぐ：ジュリー・キムへのリーダーシップ移行



クリストフ・ウェバー

ジュリー・キム

# 質疑応答



クリストフ・ウェバー

代表取締役社長 CEO



アンディー・プランク

リサーチ&デベロップメント  
プレジデント



古田 未来乃

チーフ フィナンシャル オフィサー



ジュリー・キム

次期CEO



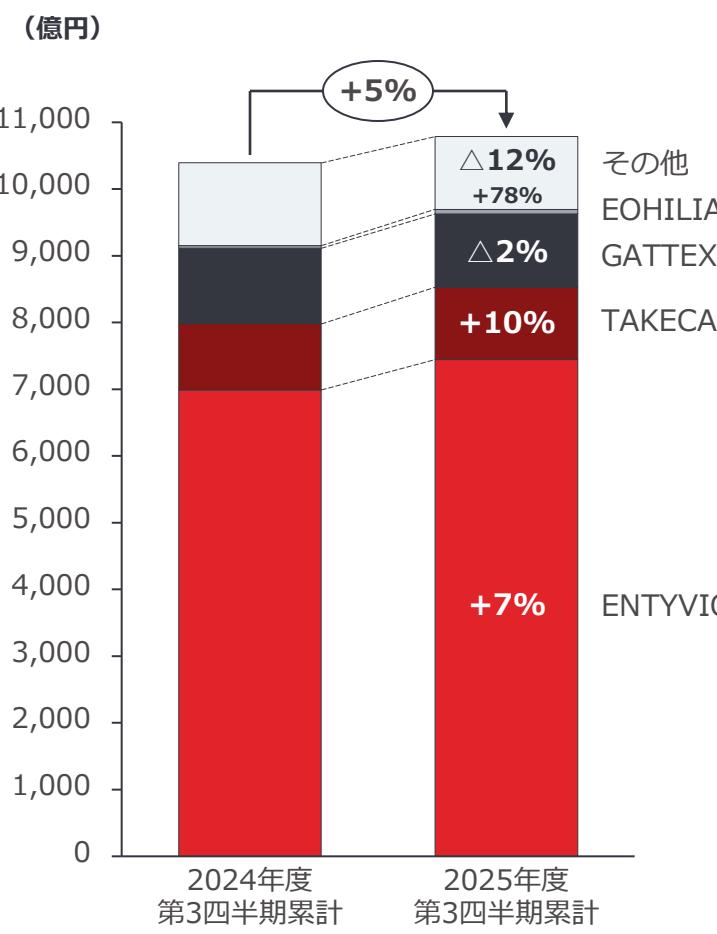
# APPENDIX



# ENTYVIOの勢いはENTYVIO Penの使用拡大により継続

## 消化器系疾患 ポートフォリオ

2025年度第3四半期累計 売上収益



2025年度第3四半期累計 売上収益 7,445億円 (+7.4%成長、CERベース)

- 米国において、ENTYVIOは炎症性腸疾患（IBD：潰瘍性大腸炎（UC）およびクローン病）に対する治療薬として第1位を維持<sup>1</sup>。UCおよびクローン病に対する唯一の腸管選択的治療薬である
- 米国におけるPen（皮下投与製剤）の投与患者数は前四半期比で二桁台の成長率を示し、数量ベースで静脈注射とPenの比率は90% : 10%となった。薬剤給付管理会社（PBM）の大手3社すべてを含むフォーミュラリへの組み入れ拡大や患者アクセス体験の改善により、Penの浸透が継続
- 欧州では、厳しい競争環境下にあるものの、皮下投与製剤の浸透により、ENTYVIOの投与患者数および数量は一桁台後半の力強い成長率を維持
- 症状寛解や内視鏡的治癒といった治療目標をサポートするための臨床試験や、vedolizumabをバックボーン薬剤としてIBD治療における有効性の限界を超える併用療法の潜在的な役割を検討するための臨床試験への投資
- バイオシミラー参入時期の想定に変更なし。2032年以前に上市を試みるバイオシミラーは、全ての関連特許の侵害の可能性、もしくはそれら特許の法的な有効性の確認が必要



2025年度第3四半期累計 売上収益 69億円 (+78.5%成長、CERベース)

- 2024年2月の上市以来、EOHLIAに対する患者さんからの需要は毎月増加し続けている
- 医療従事者の高い認知度および実臨床における良好な治療体験により成長が支えられている  
米国における医療従事者および患者さんとのエンゲージメントと教育に引き続き注力
- EOHLIAは、米国消化器病学会のガイドラインにおいて好酸球性食道炎の第一選択薬として強く推奨され  
米国食品医薬品局（FDA）から承認された唯一の治療薬

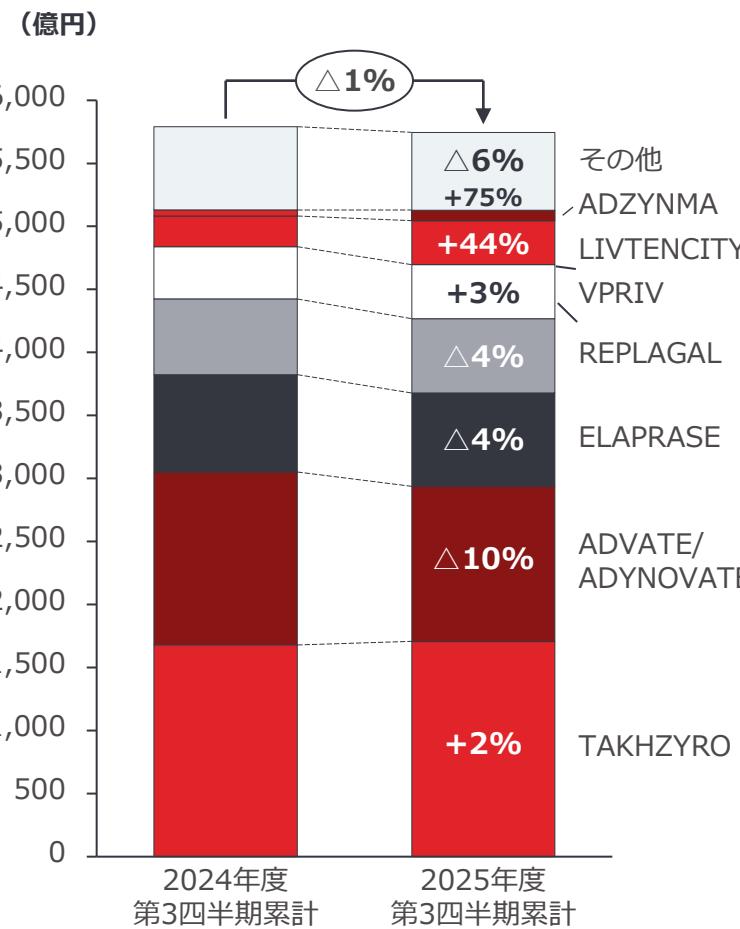


# TAKHZYROは新たな競合が台頭する中においても成長が継続 LIVTENCITYは米国での順調な市場浸透およびグローバルでの急速な地理的拡大



## 希少疾患ポートフォリオ

2025年度第3四半期累計 売上収益



2025年度第3四半期累計 売上収益 1,707億円 (+2.4%成長、CERベース)

- 発売から7年が経過、TAKHZYROは長期的に遺伝性血管性浮腫（HAE）の発作を予防する現代の治療薬としてシェア第1位を継続。約6,850人の患者さんへ投与されており、上市以来20,000人以上の投与実績を有する
- 55カ国以上で発売されており、実臨床における確固たるエビデンス（3.5年を超える投与期間）に支えられ治療成績の向上（生活の質（QOL）の改善効果とHAEの発作を完全に予防する可能性を含む）を実現
- 2歳以上の患者さんにおける長期的な予防を対象に投与可能な初めてのHAE治療薬



2025年度第3四半期累計 売上収益 349億円 (+43.6%成長、CERベース)

- LIVTENCITYは、米国で力強い勢いが継続。新規投与症例の増加や新規処方医と再処方医の増加に繋がる各移植センターにおける浸透、新規投与症例の増加に繋がる良好な市場アクセスの傾向が牽引
- 一部の患者さんにおける治療期間の長期化や、より幅広い対象患者さんへの処方拡大の可能性など、実臨床での使用は非常に個別化されていることが明らかになっている
- 急速な地理的拡大が継続し、30カ国以上において使用可能  
直近では日本で上市し、中国では国家医療保険償還医薬品リスト（NRDL）へ収載



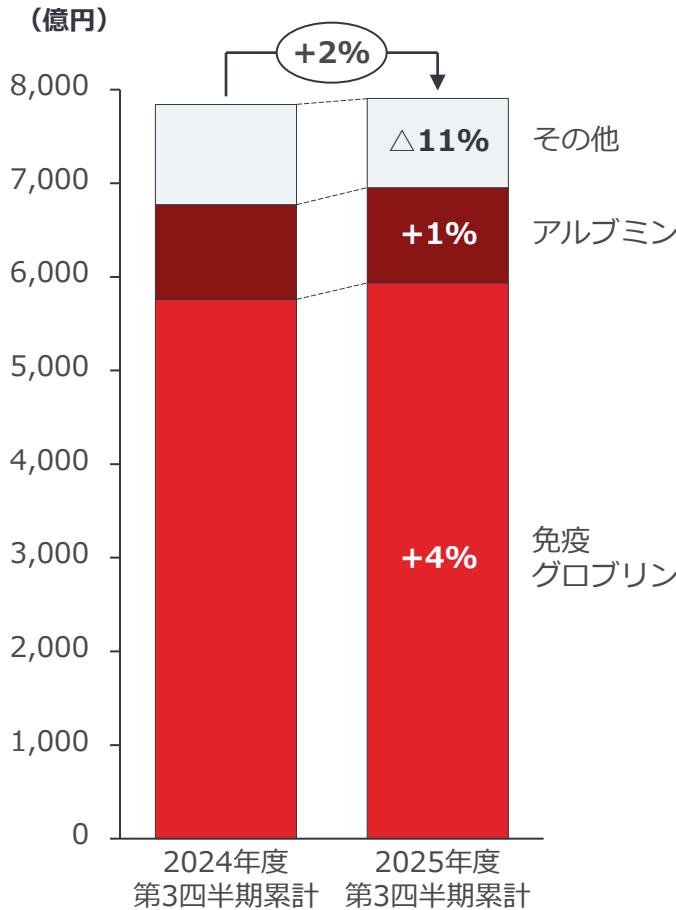
2025年度第3四半期累計 売上収益 84億円 (+74.8%成長、CERベース)

- 堅実な立ち上がりの兆し：先天性血栓性血小板減少性紫斑病（cTTP）を対象に米国、日本、ドイツ、オーストリアで上市済み。ブラジルで2024年12月、英国で2025年5月に承認取得。欧州および新興国市場でのさらなる上市を予定
- 非常に高いアンメット・ニーズを有する超希少な患者さん集団に対する医療関係者の高い関心が上市後の勢いを牽引
- cTTPにおける上市後の立ち上がりは当初の想定を上回っており、従来治療法からADZYNMAへの切り替えが急速に進んでいる

# 短期的な成長と収益性改善を両立させながら 血漿分画製剤の持続可能な供給を実現し、世界的な需要拡大に対応

## 血漿分画製剤 ポートフォリオ

2025年度第3四半期累計 売上収益



## 免疫グロブリン製剤

2025年度第3四半期累計 売上収益 5,936億円  
(+4.3%成長、CERベース)

- 静注用免疫グロブリンの成長はメディケア・パートD再編の影響を受けたものの、第4四半期には同影響が解消し、対前年での成長加速を見込む
- 皮下注用免疫グロブリンポートフォリオの売上高は二桁台の成長率で増加。HyHub/HyHub Duoデバイスの米国での上市が第4四半期のさらなる成長を支える
- Gammagard Liquid ERCの米国における直近の上市によりポートフォリオの差別化を一段と強化



## アルブミン製剤

2025年度第3四半期累計 売上収益 1,016億円  
(+1.3%成長、CERベース)

- 中国におけるコスト抑制策が売上高に継続的なマイナス影響を与えており、供給の再配分が行われている他市場では競争が激化している
- 入札結果に基づく納入が進んだことで第3四半期は成長に回帰しており、第4四半期にはさらなる成長を見込む



## 利益率の改善とバリューチェーン全体にわたる戦略的な投資を継続

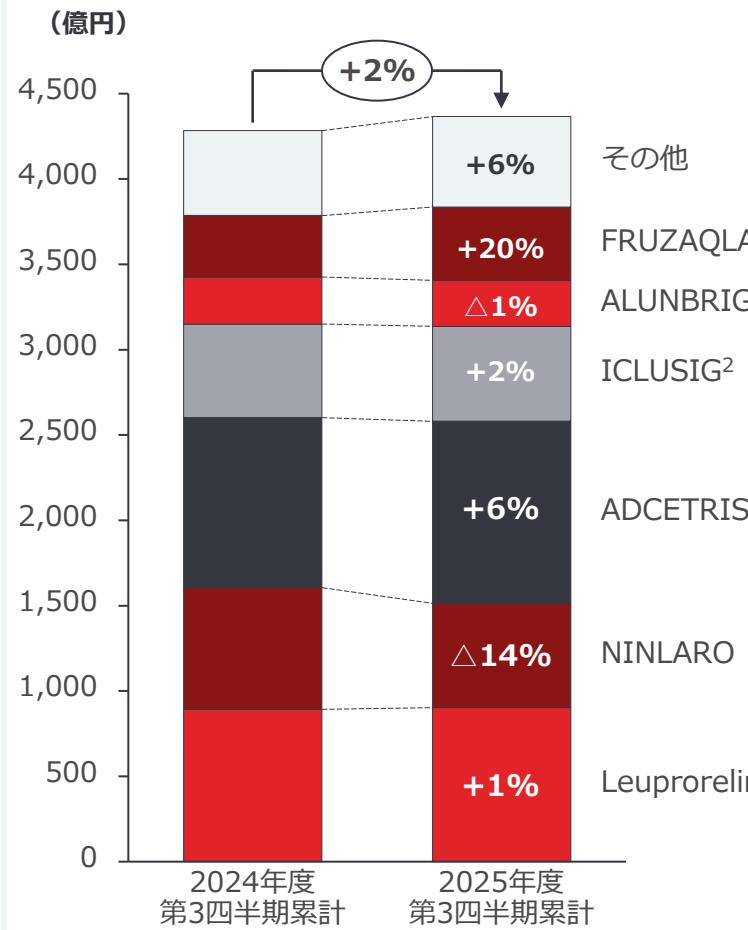
- 皮下注用免疫グロブリンの成長加速、戦略的な市場セグメントへの選択的注力およびデータ、デジタル、テクノロジーの活用による血漿分画製剤事業のバリューチェーン全体の効率化を通じて、対前年での利益率改善が継続
- 血漿収集量は、新規に開設したセンターの稼働率向上、ネットワークの最適化、デジタル・トランスフォーメーションにより引き続き増加
- 米国内センターにおけるFresenius Kabi社の適応型ノモグラムの全面導入が予定よりも早期に完了。残る米国内センターにおけるHaemonetics社のノモグラム導入についても、2025年度末までの完了に向けて順調に進捗
- 採漿体験の個別化および採漿コストの最適化のため、テクノロジーとAIへの投資を継続
- 製造ネットワーク全体でターゲットを絞った投資を行い、継続的な血漿成分の収率改善や製造能力の拡大および効率化を図る



# FRUZAQLAおよびADCETRISが成長を牽引



## オンコロジー ポートフォリオ 2025年度第3四半期累計 売上収益



## Fruzaqla® (fruquintinib) capsules

2025年度第3四半期累計 売上収益 429億円 (+19.9%成長、CERベース)

- これまでに38カ国において承認取得または上市済み  
第3四半期にポルトガル、ベルギー、韓国およびメキシコにおいて上市
- 主な成長要因として、転移性大腸がん（mCRC）における化学療法以外の新たな治療選択肢に対する  
需要に加え、3次治療以降での使用に対する腫瘍内科医の良好な治療経験の継続が挙げられる

## ADCETRIS<sup>3</sup> brentuximab vedotin

2025年度第3四半期累計 売上収益 1,068億円 (+6.2%成長、CERベース)

- 主な成長ドライバーはホジキンリンパ腫（HL）の1次治療における継続的な使用拡大
- 新たに診断されたリスク因子を有するIIb期およびIII期/IV期のホジキンリンパ腫の成人患者さんに  
対するADCETRISとECADDレジメン併用療法への欧州委員会（EC）による承認に加え、  
その他の17市場における承認取得（第3四半期は8市場）が引き続き成長に寄与

ECADD : エトボシド、シクロホスファミド、ドキソルビシン、ダカルバジン、デキサメタゾン  
疾患名等の略語用語集は参考資料をご参照下さい。

- FRUZAQLAはHUTCHMED社より導入。当社は、全世界（中国本土、香港およびマカオを除く）で開発、上市、製造するための独占的ライセンス権を保有。
- 当社は、米国、オーストラリア、カナダにおけるICLUSIGの販売権を保有。米国、オーストラリア、カナダ以外では、ICLUSIGは認可された4社のパートナーによって60を超える市場で販売。
- ADCETRISはPfizer社より導入（2023年12月、Seagen社はPfizer社により買収）；北米外でのグローバル共同開発・販売権を保有。

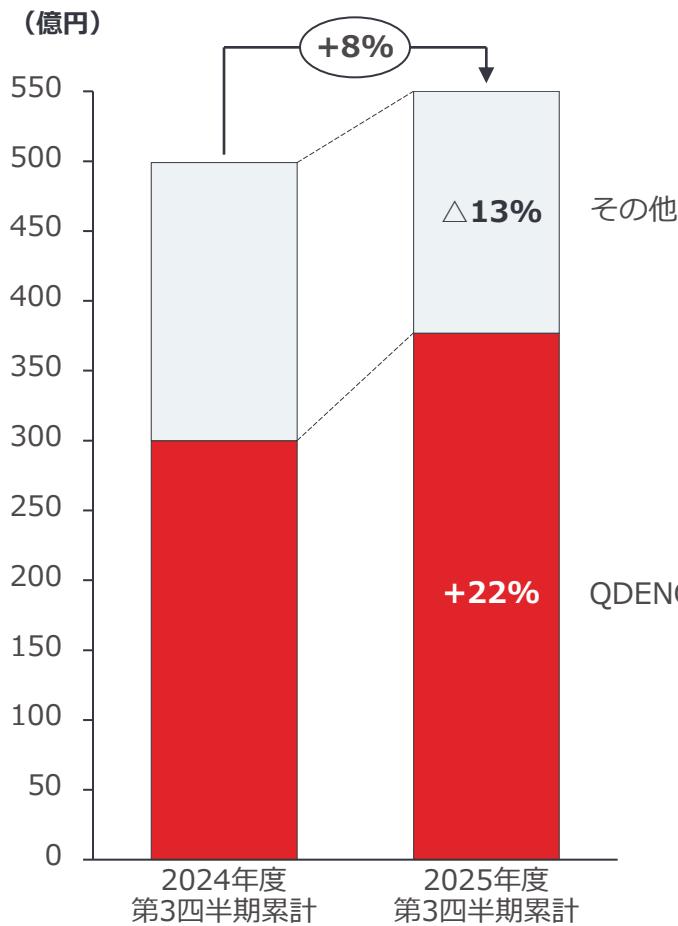


ワクチン

# QDENGAの需要は引き続き堅調



## ワクチン ポートフォリオ 2025年度第3四半期累計 売上収益



2025年度第3四半期累計 売上収益 377億円 (+22.1%成長、CERベース)

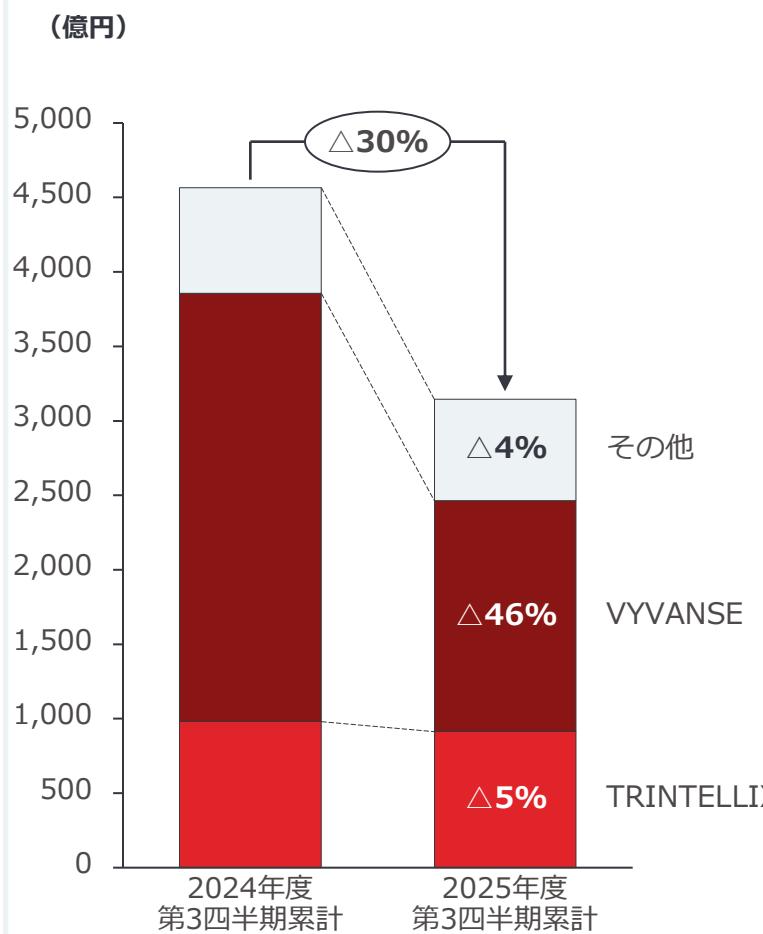
- ピボタル臨床第3相TIDES試験の7年間にわたる評価が完了し、データを公表
  - 本結果により、これまでに確立されたQDENGAの4.5年間の安全性および有効性プロファイルは7年間にわたり持続することが裏付けられた
  - これらの結果より、長期的な予防において7年間は追加接種を必要としない可能性が示唆されたまた、4種すべてのデングウイルス血清型に対して有効性を確認
- QDENGAは現在最も長期間の臨床評価が行われたデング熱ワクチンであり、増大する疾病負担の軽減に寄与する有効な選択肢
- 世界的に強い需要：33カ国で接種可能
- 政府もしくは地域単位の予防接種プログラムを通じて接種可能：ブラジル（2023年3月承認、2023年12月より接種可能）、アルゼンチン（2023年4月承認、2024年8月より接種可能）、インドネシア（2022年8月承認、2023年11月より接種可能）
- 重要な国際機関によるQDENGAへの推奨が、認知度向上とアクセス拡大を後押し
  - 世界保健機関（WHO）がQDENGAを事前認証ワクチンリストに追加
  - 4カ国でPAHO（Pan American Health Organization）のリボリビングファンドを通じて接種可能：ホンジュラス（2024年10月）、ペルー（2024年10月）、パラグアイ（2025年10月）およびコロンビア（2025年10月）
  - Gavi（Global Alliance for Vaccines and Immunization）の理事会は、アクセス拡大への大きな一步となるデング熱ワクチンプログラムへの支援を承認
- 2025年度には1,550万回接種分の製造を計画、2030年度までに年間1億回接種分を製造する計画は予定通り進捗

# 2023年8月よりVYVANSEの米国における独占販売期間満了による影響を受ける



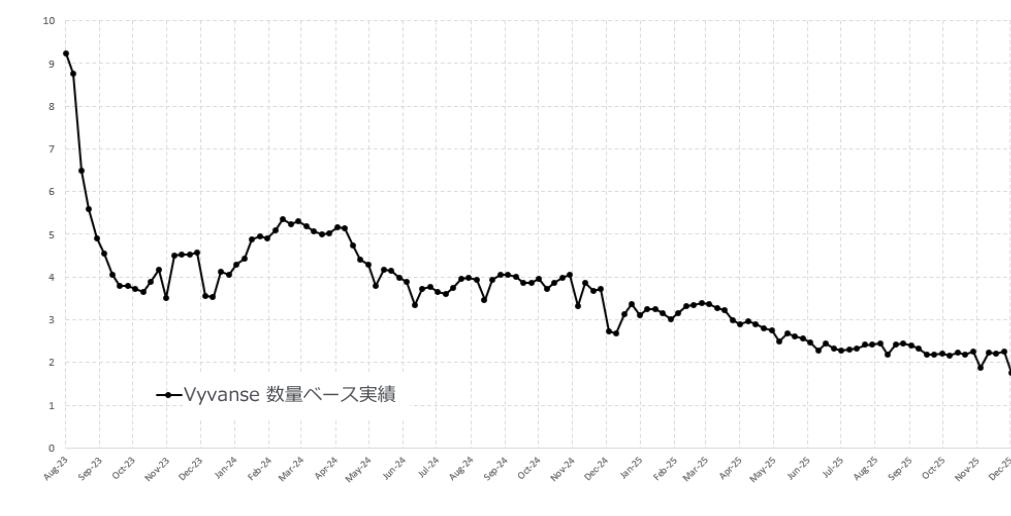
## ニューロサイエンス ポートフォリオ

2025年度第3四半期累計 売上収益



2025年度第3四半期累計 売上収益 1,551億円 (45.7%減少、CERベース)

## 米国におけるVYVANSEの週間処方量 (単位: 百万)<sup>2</sup>



2025年度第3四半期累計 売上収益 914億円 (5.0%減少、CERベース)

- 米国の2025年第3四半期累計の売上収益は7.2%減少 (CERベース)  
主にメディケア・パートD再編と大手小売業者の在庫水準の変動による影響
- 日本の2025年第3四半期累計の売上収益は+14.7%成長となり力強い勢いが継続

# ライフ・サイクル・マネジメントを通じ、既存ポートフォリオの価値を最大化



承認

臨床第3相試験開始

マイルストン達成

申請目標

ブルーフ・オブ・コンセプトデータ読み出し

臨床第2相試験開始

1. TAK-755はADAMTS13（遺伝子組換え）の開発コード  
2. QDENGAはメキシコで承認取得（2025年9月）

# 新規候補物質の重要な臨床第3相試験データの読み出しと適応拡大の可能性



主な ピボタル試験 読み出し	oveporexton	ナルコレプシータイプ1	臨床第3相試験 読み出し	✓
	zasocitinib	乾癬	臨床第3相試験 読み出し	✓
	mirvetuximab	プラチナ製剤抵抗性卵巣がん	ピボタル試験 読み出し <sup>1</sup>	✓
主な承認 の可能性	ADCETRIS	ホジキンリンパ腫に対するフロントライン治療 (BrECADDレジメン)	欧州 承認	✓
	VONVENDI	小児フォン・ヴィレブランド病 (出血時および周術期の補充療法)	米国 承認	✓
	TAK-880 <sup>2</sup>	原発性免疫不全症候群に対する 低IgA含有免疫グロブリン製剤	米国 承認 欧州 承認	✓ ✓

臨床試験データの「読み出し」とは、以下のいずれかの場合を指す：

(1) 該当する臨床データの取得、(2) 取得した臨床データに対する必要な分析およびレビューの完了、(3) (要請される場合または通常の慣例や実務慣行に基づく場合) 取得したデータについて該当する規制当局との協議

1. 日本での申請に繋がる臨床第1/2相ピボタル試験

2. TAK-880は、米国ではGAMMAGARD LIQUID ERCとして、欧州ではDEQSIGAとして承認取得

✓ マイルストン達成

✗ マイルストン未達成

# 臨床開発パイプライン一覧表（フェーズ別）



<b>消化器系・炎症性疾患</b>
<b>ニューロサイエンス (神經精神疾患)</b>
<b>オンコロジー</b>
<b>血漿分画製剤</b>
<b>オプション契約<sup>3</sup></b>

臨床第1相試験（新規候補物質5品目）	臨床第2相試験（新規候補物質9品目 + LCM2件）
TAK-004 Nausea & Vomiting	TAK-781 PSC <i>NEW</i>
TAK-168 Solid Tumors	TAK-188 Solid Tumors <i>NEW</i>
TAK-168 Solid Tumors	TAK-921 Solid Tumors <i>NEW</i>
IBI3001 <sup>4</sup> Solid Tumors <i>NEW</i>	zasocitinib Crohn's Disease
	TAK-227 Celiac Disease
	ADZYNMA® ITTP <i>NEW</i>
	TAK-360 IH <i>★</i>
	TAK-360 NT2 <i>★</i>
	danavorexton Respiratory <sup>1</sup>
	TAK-594 <i>★</i> Frontotemporal Dementia
	elrитеcept AA Myelofibrosis <i>★</i>
	TAK-928 Solid Tumors <i>NEW</i>
	mirvetuximab PROC (JP) <sup>2</sup> <i>NEW</i>
	TAK-411 CIDP
	ACI-24.060 <sup>5</sup> Alzheimer's Disease

1. Danavorextonは呼吸器関連疾患を対象とした臨床試験を検討中。
2. 現在、臨床第1/2相試験の第2相パート。
3. オプション契約：当社が臨床開発かつ/または商業化を将来行う可能性がある契約上の権利を保有するパイプライン。
4. IBI3001は参考情報としてのみ掲載。特定の独占的ライセンスを取得するためのオプション権を当社が行使（規制当局による承認を含む慣習的な条件を満たす必要がある）するまでの間、Innoven Biologics社は本候補物質を所有し単独で臨床開発を実施。
5. ACI-24.060は参考情報としてのみ掲載。特定の独占的ライセンスを獲得するためのオプション権を当社が行使（規制当局による承認を含む慣習的な条件を満たす必要がある）するまでの間、AC Immune社は本候補物質を所有し単独で臨床開発を実施。

新規候補物質      LCM  
*★* 希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）  
 指定の可能性（いずれかの地域/適応症）  
**NEW** 前四半期以降に追加された臨床開発プログラム

# 臨床開発パイプライン一覧表（フェーズ別）



消化器系・炎症性疾患	
ニューロサイエンス (神經精神疾患)	
オンコロジー	
その他の希少疾患	
血漿分画製剤	
ワクチン	
オプション契約 <sup>2</sup>	olveremabatinib <sup>3</sup> HQP1351 CP-CML

臨床第3相試験（新規候補物質8品目 + LCM11件）					申請（新規候補物質1品目 + LCM14件）				
zasocitinib Psoriasis	zasocitinib Psoriatic Arthritis	zasocitinib Pediatric Psoriasis	mezagitamab <sup>★</sup> ITP	mezagitamab <sup>★</sup> IgAN	ADZYNMA® cTTP (CN)				
fazirsiran <sup>★</sup> AATD Liver Disease	ENTYVIO® IV Pediatric UC/Crohn's	ENTYVIO® SC Pediatric UC/Crohn's			oveporexton <sup>1</sup> NT1 (CN)				
oveporexton <sup>1</sup> NT1					ADCETRIS® FL HL BrEADD (EU)				
rusfertide <sup>★</sup> Polycythemia Vera	elritrecept 2L AA MDS	TAK-921 3L+ Gastric Cancer (JP)	TAK-928 2L sqNSCLC	mirvetuximab PSOC (JP)	VONVENDI® vWD Pediatric On-demand & Surgery (US)	VONVENDI® vWD Pediatric On-demand & Surgery (JP)	VONVENDI® vWD Pediatric On-demand (EU)	ADYNNOVATE® recombinant Factor VIII HemA (CN)	
LIVTENCITY® <sup>★</sup> Pediatric Post-transplant CMV infection	VONVENDI® <sup>★</sup> vWD Pediatric Surgery (EU), Prophylaxis	ADYNNOVATE® recombinant Factor VIII Pediatric HemA (EU)			HYQVIA® CIDP, MMN (JP)	DEQSIGA TAK-880 IgG – Low IgA (EU)	GAMMAGARD ERC TAK-880 IgG – Low IgA (US)	HyHub™ AVA Device (US)	
TAK-881 PID	TAK-881 CIDP	Prothromplex DOAC Reversal (US)	Glovenin-I 5% TAK-961 Autoimmune Encephalitis (JP)		Glovenin-I 10% TAK-339 Multiple Indications (JP)	Glovenin-I 10% TAK-339 Autoimmune Encephalitis (JP)	Glovenin-I 10% TAK-961 Multiple Indications (JP)	Glovenin-I 10% TAK-961 Autoimmune Encephalitis (JP)	
QDENGA® Dengue Vaccine Booster									

1. Oveporextonは米国食品医薬品局（FDA）に対し承認申請を提出済みで受理は未了、日本において段階的申請を開始。中国において申請済み。
2. オプション契約：当社が臨床開発かつ/または商業化を将来行う可能性がある契約上の権利を保有するパイプライン。
3. Olveremabatinib/HQP-1351は参考情報としてのみ掲載。特定の独占的ライセンスを獲得するためのオプション権を当社が行使（規制当局による承認を含む慣習的な条件を満たす必要がある）するまでの間、Ascentage Pharma社は本候補物質を所有し単独で臨床開発を実施。

承認済 新規候補物質 LCM

★ 希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）指定の可能性（いざれかの地域/適応症）

NEW 前四半期以降に追加された臨床開発プログラム

# 継続的なエビデンス構築および適応拡大

## 臨床第3相試験

## 臨床第3b/4相試験

## 論文掲載

## 承認済

### 潰瘍性大腸炎

ENTYVIO® IV  
小児適応（グローバル）

ENTYVIO® SC  
小児適応（グローバル）

ENTYVIO® IV (VERDICT)  
(グローバル)<sup>3, 4</sup>

ENTYVIO® IV (EXIGEM)  
ENT + tof (米国、カナダ)<sup>3</sup>

ENTYVIO® IV/SC (PANORAMA)  
(米国)<sup>3</sup>

ENTYVIO® IV (VARSITY)  
ENT vs. ada<sup>1</sup>

ENTYVIO® IV  
(グローバル)

ENTYVIO® SC  
(米国、欧州、日本)

### クローン病

ENTYVIO® IV  
小児適応（グローバル）

ENTYVIO® SC  
小児適応（グローバル）

ENTYVIO® IV (EXPLORER 2)  
ENT + ada or ENT + ust  
(米国、カナダ)<sup>3</sup>

ENTYVIO® IV (VICTRIVA)  
ENT + upa (グローバル)<sup>3</sup>

ENTYVIO® (VOICE)  
ENT or ust (米国、カナダ)<sup>3, 4</sup>

ENTYVIO® IV (VECTORS)  
(グローバル)<sup>3, 4</sup>

ENTYVIO® IV/SC (PANORAMA)  
(米国)<sup>3</sup>

ENTYVIO® IV  
(グローバル)

ENTYVIO® SC  
(米国、欧州、日本)

### 回腸襄炎

ENTYVIO® IV  
小児適応（欧州）

ENTYVIO® IV  
(欧州)

### 移植片対宿主病

ENTYVIO® IV  
(グローバル)<sup>2</sup>

1. Sands BE et al. N Engl J Med 2019;381:1215-26.
2. Chen, YB., Mohty, M., Zeiser, R. et al. Nat Med 30, 2277-2287 (2024).
3. 適応拡大などを目的としたデザインの臨床試験ではない
4. 当社の協力を得て、Alimentiv社が主導する共同研究

ENT : ENTYVIO  
Tof : tofacitinib (トファシチニブ)  
Ada : adalimumab (アダリムマブ)  
Ust : ustekinumab (ウステキヌマブ)  
Upa : upadacitinib (ウパダシチニブ)

承認済

★ 希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）指定の可能性

論文掲載

継続中の試験または申請済

# Zasocitinib (TAK-279) は経口薬がもつ可能性を再定義しうる 幅広い適応症を対象とした臨床試験が進行中



Latitude	臨床第2相試験 開始	臨床第2b相試験 データ読み出し	臨床第3相試験 開始	臨床第3相試験 データ読み出し	申請
乾癬		2023年3月 ✓	2023年11月 ✓	2025年12月 ✓	2026年度目標
乾癬 Deucravacitinibとの 直接比較試験			2025年7月 ✓	2026年度目標	
乾癬 小児			2025年12月 ✓		
乾癬性関節炎		2023年9月 ✓	2024年3月 ✓		2027-2029年度目標
クローン病	2024年3月 ✓ (臨床第2b相試験)	2026年度目標			
潰瘍性大腸炎	2024年6月 ✓ (臨床第2b相試験)	2026年度目標			
白斑	2025年12月 ✓ (臨床第2b相試験)				
化膿性汗腺炎	2025/26年度 (臨床第2a相試験)				

✓ マイルストン達成

# 略語の用語集



## 地域に関する略語:

CN: 中国; EU: 欧州; JP: 日本; UK: 英国; US: 米国

<b>1L</b>	first line (1次治療)
<b>2L</b>	second line (2次治療)
<b>3L</b>	third line (3次治療)
<b>AA</b>	anemia-associated (～に伴う貧血)
<b>AATD</b>	$\alpha$ 1-antitrypsin deficiency ( $\alpha$ 1アンチトリプシン欠乏症)
<b>ADC</b>	antibody-drug conjugate (抗体薬物複合体)
<b>AE</b>	adverse event (有害事象)
<b>AI</b>	artificial intelligence (人工知能)
<b>AML</b>	acute myeloid leukemia (急性骨髄性白血病)
<b>ASN</b>	American Society of Nephrology (米国腎臓学会)
<b>AVA</b>	Advanced Vial Access
<b>B7-H3</b>	B7 Homolog 3 (B7ホモログ3)
<b>BID</b>	bis in die (1日2回投与)
<b>BTD</b>	breakthrough therapy designation (画期的新薬指定)
<b>CD</b>	cluster of differentiation (分化抗原の国際分類)
<b>CI</b>	confidence interval (信頼区間)
<b>CIDP</b>	chronic inflammatory demyelinating polyradiculoneuropathy (慢性炎症性脱髓性多発根神経炎)
<b>CLDN18.2</b>	claudin 18.2
<b>CML</b>	chronic myeloid leukemia (慢性骨髄性白血病)
<b>CMV</b>	cytomegalovirus (サイトメガロウイルス)
<b>CORR</b>	confirmed objective response rate (確定客観的奏効率)
<b>CP-CML</b>	chronic-phase chronic myeloid leukemia (慢性期の慢性骨髄性白血病)
<b>CPI</b>	Checkpoint inhibitor (免疫チェックポイント阻害剤)
<b>CRC</b>	colorectal cancer (大腸がん)
<b>cTPP</b>	congenital thrombotic thrombocytopenic purpura (先天性血栓性血小板減少性紫斑病)
<b>CY</b>	calendar year (暦年)
<b>DAR4</b>	Drug to Antibody Ratio 4:1 (薬物抗体比4:1)
<b>DOAC</b>	direct oral anti-coagulation (直接経口抗凝固薬)
<b>EDS</b>	excessive daytime sleepiness (日中の過度の眠気)
<b>EGFR</b>	epidermal growth factor receptor (上皮増殖因子受容体)
<b>eGFR</b>	estimated glomerular filtration rate (推算糸球体濾過量)
<b>EMA</b>	European Medicines Agency (欧洲医薬品庁)
<b>EQ-5D-5L</b>	EuroQoL-5 Dimensions 5-levels (自己評価によるQOLの評価指標)
<b>ESS</b>	Epworth Sleepiness Scale (エプワース眠気尺度)
<b>FDA</b>	U.S. Food & Drug Administration (米国食品医薬品局)
<b>FL</b>	front line (フロントライン適応)
<b>FSI</b>	first subject in (最初の患者登録)
<b>FY</b>	fiscal year (年度)
<b>GC</b>	gastric cancer (胃がん)
<b>Gd-IgA</b>	galactose-deficient IgA (ガラクトース欠損免疫グロブリンA)

<b>GZMB</b>	granzyme B (グランザイムB)
<b>HAE</b>	hereditary angioedema (遺伝性血管性浮腫)
<b>HCC</b>	hepatocellular carcinoma (肝細胞がん)
<b>HCP</b>	healthcare professional (医療従事者)
<b>HemA</b>	hemophilia A (血友病A)
<b>HER2</b>	human epidermal growth factor receptor 2 (ヒト上皮成長因子受容体2)
<b>HL</b>	Hodgkin lymphoma (ホジキンリンパ腫)
<b>HS</b>	hidradenitis suppurativa (化膿性汗腺炎)
<b>IBD</b>	inflammatory bowel disease (炎症性腸疾患)
<b>IFN-<math>\alpha/\beta</math></b>	interferon alpha/beta (インターフェロン $\alpha/\beta/\gamma$ )
<b>IgA</b>	immunoglobulin A (免疫グロブリンA)
<b>IgAN</b>	immunoglobulin A nephropathy (IgA腎症)
<b>IgG</b>	immunoglobulin G (免疫グロブリンG)
<b>IgG1 Fc</b>	crystallizable fragment of IgG (IgGの結晶化可能フラクメント)
<b>IH</b>	idiopathic hypersomnia (特発性過眠症)
<b>IL-12/17/23</b>	interleukin 2/12/17/23 (インターロイキン2/12/17/23)
<b>IND</b>	investigational new drug (治験薬)
<b>IO</b>	immuno-oncology (免疫腫瘍学)
<b>iTPP</b>	immune thrombotic thrombocytopenic purpura (免疫性血栓性血小板減少性紫斑病)
<b>IV</b>	intravenous (静脉投与)
<b>JPY</b>	Japanese Yen (日本円)
<b>KRAS</b>	Kirsten rat sarcoma viral gene (Kirstenラット肉腫ウイルス遺伝子)
<b>LCM</b>	lifecycle management (ライフ・サイクル・マネジメント)
<b>LS</b>	least square (最小二乗)
<b>LTE</b>	long-term extension (長期継続投与試験)
<b>MCS</b>	Mental Component Summary (精神的側面のQOLサマリースコア)
<b>MDS</b>	myelodysplastic syndrome (骨髄異形成症候群)
<b>MF</b>	myelofibrosis (骨髄線維症)
<b>MMN</b>	multifocal motor neuropathy (多発性運動ニューロバチー)
<b>MOA</b>	mechanism of action (作用機序)
<b>mOS</b>	median overall survival (全生存期間中央値)
<b>MSS CRC</b>	microsatellite-stable colorectal cancer (マイクロサテライト安定性大腸がん)
<b>MWT</b>	maintenance of wakefulness test (覚醒維持検査)
<b>NDA</b>	new drug application (新薬承認申請)
<b>NME</b>	new molecular entity (新規化合物質)
<b>NMPA</b>	(China's) National Medical Products Administration (中国国家薬品監督管理局)
<b>NSCLC</b>	non-small cell lung cancer (非小細胞肺がん)
<b>nsqNSCLC</b>	non-squamous non-small cell lung cancer (非扁平上皮非小細胞肺がん)
<b>NSS-CT</b>	Narcolepsy Severity Scale (ナルコレプシー重症度スケール)
<b>NT1 or 2</b>	narcolepsy type 1 (ナルコレプシータイプ1) or narcolepsy type 2 (ナルコレプシータイプ2)

<b>PD-1</b>	programmed cell death protein 1 (プログラム細胞死タンパク質1)
<b>PDAC</b>	pancreatic ductal adenocarcinoma (浸潤性膵管癌)
<b>PGI-C</b>	Patient Clinical Global Impression of Change (患者さんによる変化の全般的印象)
<b>Ph1, Ph2, Ph3</b>	phase 1, 2, 3 (臨床第1相、第2相、第3相試験)
<b>PID</b>	primary immunodeficiency (原発性免疫不全)
<b>PK</b>	pharmacokinetics (薬物動態)
<b>PMDA</b>	Japan's Pharmaceuticals and Medical Devices Agency (医薬品医療機器総合機構)
<b>POC</b>	proof of concept (概念実証)
<b>PRIME</b>	Priority medicines scheme by EMA (欧州医薬品庁による優先審査スキーム)
<b>PROC</b>	platinum-resistant ovarian cancer (プラチナ製剤抵抗性卵巣がん)
<b>PsA</b>	psoriatic arthritis (乾癬性関節炎)
<b>PSC</b>	primary sclerosing cholangitis (原発性硬化性胆管炎)
<b>PsO</b>	psoriasis (乾癬)
<b>PSOC</b>	platinum-sensitive ovarian cancer (プラチナ製剤感受性卵巣がん)
<b>PVT</b>	Psychomotor Vigilance Task (精神運動覚醒テスト)
<b>QOL</b>	quality of life (生活の質)
<b>R&amp;D</b>	Research and Development (研究開発)
<b>SAE</b>	serious adverse event (重篤な有害事象)
<b>SC</b>	subcutaneous formulation (皮下投与製剤)
<b>SCCHN</b>	squamous cell carcinoma of head and neck (頭頸部扁平上皮がん)
<b>SCLC</b>	small-cell lung cancer (小細胞肺がん)
<b>SID</b>	secondary immunodeficiency (続発性免疫不全)
<b>SF-36</b>	Short Form-36 Survey (自己報告式の健康状態調査票)
<b>SOC</b>	standard of care (標準治療)
<b>sqNSCLC</b>	squamous non-small cell lung cancer (非扁平上皮非小細胞肺がん)
<b>TEAE</b>	treatment emergent adverse event (治療下で発現した有害事象)
<b>TIL</b>	tumor-infiltrating lymphocyte (腫瘍浸潤リンパ球)
<b>TNF<math>\alpha</math></b>	tumor necrosis factor alpha (腫瘍壊死因子 $\alpha$ )
<b>TOPO1</b>	Topoisomerase I (one) (DNAトポイソメラーゼI)
<b>TST</b>	tumor-specific T cell (腫瘍特異的T細胞)
<b>TYK2</b>	tyrosine kinase 2 (チロシンキナーゼ2)
<b>UC</b>	ulcerative colitis (潰瘍性大腸炎)
<b>UPCR</b>	urine protein-creatinine ratio (尿蛋白クリアニン比)
<b>USD</b>	US dollar (米ドル)
<b>VEGF</b>	vascular endothelial growth factor (血管内皮増殖因子)
<b>vWD</b>	von Willebrand disease (ファン・ヴィレブランド病)
<b>WCR</b>	weekly cataplexy rate (1週間あたりのカタプレキシー (情動脱力発作) 発現率)
<b>wk(s)</b>	week(s) (週)
<b>WW</b>	worldwide (全世界)



# 財務補足資料

## 国際会計基準（IFRS）に準拠しない財務指標の定義

国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明

A-1

## 調整表およびその他の財務情報

2025年度第3四半期累計 財務ベース業績 (CERベース増減率を含む)	A-4
2025年度第3四半期（10-12月） 財務ベース業績 (CERベース増減率を含む)	A-5
2025年度第3四半期累計 Core業績 (CERベース増減率を含む)	A-6
2025年度第3四半期（10-12月） Core業績 (CERベース増減率を含む)	A-7
2025年度第3四半期累計 財務ベースからCoreへの調整表	A-8
2025年度第3四半期（10-12月） 財務ベースからCoreへの調整表	A-9
2024年度第3四半期累計 財務ベースからCoreへの調整表	A-10
2024年度第3四半期（10-12月） 財務ベースからCoreへの調整表	A-11
2025年度第3四半期累計 調整後フリー・キャッシュ・フロー	A-12
2025年度第3四半期累計 調整後純有利子負債/調整後EBITDA	A-13
2024年度 調整後純有利子負債/調整後EBITDA	A-14
2025年度第3四半期累計 当期利益から調整後EBITDAへの調整	A-15
2025年度第3四半期累計 当期利益から調整後EBITDA (LTM) への調整	A-16
2025年度第3四半期累計 資本的支出、減価償却費及び償却費、減損損失	A-17
2025年度業績予想（詳細）	A-18
2025年度業績予想 財務ベース営業利益からCore営業利益への調整表	A-19
2025年度前提為替レートおよび通期予想に対する為替感応度	A-20

## Core財務指標

当社グループのCore売上収益、Core営業利益、Core当期利益（親会社の所有者帰属分）、Core EPSをはじめとするCore財務指標は、売却に伴う収益、製品（仕掛研究開発品を含む）に係る無形資産償却費及び減損損失、その他、非定常的な事象に基づく影響、企業結合会計影響や買収関連費用など、当社グループの中核事業の本質的な業績に関連しない事象による影響を控除しています。Core売上収益は、財務ベースの売上収益から、当社グループの中核事業の本質的な業績に関連しない売上収益に係る影響（主に、事業売却および清算に係る売上収益および関連する調整）を控除して算出します。Core営業利益は、財務ベースの営業利益から、その他の営業収益及びその他の営業費用、製品（仕掛研究開発品を含む）に係る無形資産償却費及び減損損失、その他、非資金項目または当社グループの中核事業の本質的な業績に関連しない事象による影響を控除して算出します。Core当期利益（親会社の所有者帰属分）は、財務ベースの当期利益（親会社の所有者帰属分）から、Core営業利益の算出において控除された項目、および特別、非定常的な事象に基づく影響、または当社グループの中核事業の本質的な業績に関連しない事象による影響を控除し、これらの調整項目に係る税金影響を控除して算出します。これらの調整項目には、条件付対価に係る公正価値変動（時間的価値の変動を含む）影響などが含まれます。Core EPSは、Core当期利益（親会社の所有者帰属分）を報告期間の自己株式控除後の平均発行済株式総数で除して算出します。

当社グループがCore財務指標を表示する理由は、これらの指標が、当社グループの中核事業の本質的な業績に関連しない事象による影響を控除するものであり、当社グループ事業の本質的な業績を理解していただくにあたり有用であると考えているためです。控除される項目には、(i) 前年度から著しく変動する項目、もしくは毎年度発生するものではない項目、または(ii)当社グループの中核事業の本質的な業績の変動とはほぼ相関関係がないと認められる項目が含まれます。同様の指標は、同業他社においても頻繁に使用されていると認識しており、本指標を表示することは、投資家が当社グループの業績を過年度の業績と比較される際だけではなく、同業他社と類似の基準に基づき比較される際にも有用になると考えています。また、当社グループがCore財務指標を表示する理由は、これらの指標が予算の策定や報酬の設定（CEOおよびCFOのインセンティブ報酬を含む、当社グループの短期インセンティブならびに長期インセンティブ報酬プログラムに係る一定の目標はCore財務指標の結果に関連して設定）に用いられているためです。

## CER（Constant Exchange Rate: 恒常為替レート）ベースの増減

CERベースの増減は、当期の国際会計基準（IFRS）に準拠した業績またはCore財務指標（Non-IFRS）について、前年同期に適用した為替レートを用いて換算することにより、前年同期との比較において為替影響を控除するものです。ただし、超インフレが発生し、IAS第29号「超インフレ経済下における財務報告」が適用されている子会社の業績についてはCERベースの増減調整は行わないこととし、これら子会社に係るCERベースの増減はIAS第29号に基づいて算出しています。

当社グループがCERベースの増減を表示する理由は、変動する為替レートが当社グループの事業に与える影響を踏まえ、為替影響がなかった場合の経営成績の増減について投資家に理解していただくにあたり有用であると考えているためです。CERベースの増減は、当社グループの経営陣が経営成績を評価するに際して使用する主な指標になっています。また、製薬業界における各社が為替影響を調整した同様の業績指標を頻繁に用いているため、証券アナリスト、投資家その他の関係者が各社の経営成績を評価するに際しても、本指標が有用であると考えています。

ただし、CERベースの増減の有用性には、一例として次の限界があります。例えば、CERベースの増減は、前年度においてIFRSに準拠した業績を算定するために用いた為替レートと同一の為替レートを用いますが、そのことは必ずしも、当年度の取引が前年度と同一の為替レートで実施され得た、あるいは計上され得たことを示すものではありません。また、類似の名称の指標を用いている同業他社が、当社グループとは異なる方法で指標を定義し、算定している可能性があるため、そのような指標との比較可能性に欠け得るものです。従って、CERベースの増減はIFRSに準拠して作成、表示された業績と切り離して考慮してはならず、また、これらの代替と捉えてはならないものです。



## フリー・キャッシュ・フローおよび調整後フリー・キャッシュ・フロー

当社グループのフリー・キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローから有形固定資産の取得による支出を控除したものです。調整後フリー・キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローから、有形固定資産の取得による支出、無形資産の取得による支出、投資の取得による支出（公正価値ヒエラルキーのレベル1に区分される債券投資の取得による支出の控除後）、関連会社株式の取得による支出、事業の取得による支出（取得した現金及び現金同等物の純額の控除後）およびそれらに実質的に関連または類似していると見做されるその他の支出を控除した上で、有形固定資産の売却による収入、投資の売却・償還による収入（公正価値ヒエラルキーのレベル1に区分される債券投資の売却・償還による収入の控除後）、関連会社株式の売却による収入、事業の売却による収入（処分した現金及び現金同等物の純額の控除後）を加味し、さらに、当社グループが即時的または一般的な業務用に使用できないいかなるその他の現金の支出入を調整し、算出しています。

当社グループがフリー・キャッシュ・フローおよび調整後フリー・キャッシュ・フローを表示する理由は、証券アナリスト、投資家その他の関係者が製薬業界における各社の評価を行うに際して頻繁に用いられる流動性についての同様の指標として、これらの指標が投資家にとって有用であると考えているためです。調整後フリー・キャッシュ・フローは、流動性要件を満たす能力を測り、資本配分方針をサポートする指標として流動性及びキャッシュ・フローの評価を行うに際して、当社グループの経営陣によっても使用されています。また、フリー・キャッシュ・フローおよび調整後フリー・キャッシュ・フローは、投資家が、当社グループの戦略的な買収や事業の売却がどのようにキャッシュ・フローに貢献するかを理解される上で有用であると考えています。

投資家にとってのフリー・キャッシュ・フローおよび調整後フリー・キャッシュ・フローの有用性には、一例として次の限界があります。例えば、(i) 同業他社を含め、用いられている類似の名称の指標との比較可能性に欠け得るもので、(ii) 当社グループの、資本の使用又は配分を必要とする現在及び将来の契約上その他のコミットメントの影響は反映されていません、(iii) 投資の売却・償還による収入、事業の売却による収入（処分した現金及び現金同等物の純額の控除後）は、中核である継続的な事業からの収入を示すものではありません。フリー・キャッシュ・フローおよび調整後フリー・キャッシュ・フローは、IFRSに基づく指標である営業活動によるキャッシュ・フロー及びその他の流動性指標と切り離して考慮してはならず、また、これらの代替と捉えてはならないものです。IFRSに準拠した指標の中で、フリー・キャッシュ・フローおよび調整後フリー・キャッシュ・フローは営業活動によるキャッシュ・フローが最も類似します。

## EBITDAおよび調整後EBITDA

当社グループにおいて、**EBITDA**は、法人所得税費用、減価償却費及び償却費、ならびに純支払利息控除前の連結当期利益を指します。また、**調整後EBITDA**は、減損損失、その他の営業収益及び他の営業費用（減価償却費及び償却費ならびに減損損失を除く）、金融収益及び費用（純支払利息を除く）、持分法による投資損益、株式報酬に係る非資金性の費用を含むその他の非資金性項目、および売却した製品に係るEBITDA、企業結合会計影響や買収関連費用などの当社グループの中核事業に関連しないその他の項目を除外するように調整されたEBITDAを指します。

当社グループがEBITDA及び調整後EBITDAを表示する理由は、これらの指標が証券アナリスト、投資家その他の関係者が製薬業界における各社の評価を行う際に頻繁に用いられるものであり、投資家にとって有用であると考えているためです。当社グループは、調整後EBITDAを主に財務レバレッジをモニターするために使用しています。また、調整後EBITDAは、継続的な事業に関連しない特定の事象（変化に富み予測が困難である一方で、経営成績に重大な影響を与える可能性があり、一定期間にわたる業績を一貫性をもって評価することが困難な事象）から生じる不透明さを排除することから、投資家にとって、事業の動向を把握するに際して有用な指標であると考えています。

投資家にとってのEBITDA及び調整後EBITDAの有用性には、一例として次の限界があります。例えば、(i) 同業他社を含め、用いられている類似の指標との比較可能性に欠け得るもので、(ii) 企業買収や無形資産の償却による影響などを含む、当社グループの業績、価値又は将来見通しの評価において重要とみなされる可能性のある財務情報や事象が除外されています、(iii) 将来にわたって継続的に発生する可能性のある項目又は項目の種類が除外されています、(iv) 投資家が当社グループの業績を理解する上で重要とみなす可能性のあるすべての項目が含まれていない、又は、重要とみなさないであろうすべての項目が除外されている場合があります。EBITDAおよび調整後EBITDAは、IFRSに準拠した指標である営業利益、当期利益、その他の業績指標と切り離して考慮してはならず、また、これらの代替と捉えてはならないものです。IFRSに準拠した指標の中で、EBITDAおよび調整後EBITDAは、当期利益が最も類似します。



## 純有利子負債および調整後純有利子負債

当社グループは、純有利子負債を連結財政状態計算書上の社債及び借入金の簿価に現金及び現金同等物のみを調整したものと定義しており、当社グループの調整後純有利子負債は、次のとおり算出しています。まず、連結財政状態計算書に記載されている社債及び借入金の流動部分と非流動部分合計を計算します。その上で、(i) 期初に残存する外貨建て負債を直近12ヶ月の期中平均レートを用いて換算し、報告期間中に計上した新規の外貨建て負債および償還した既存の外貨建て負債については対応するスポットレートを用いて換算し、当社グループの経営陣が当社グループのレバレッジをモニターするために使用する方法論を反映しています。また、(ii) 当社グループの劣後特約付きハイブリッド債について、その株式に似た特徴を踏まえ、S&Pグローバル・レーティング・ジャパンの格付手法に基づきエクイティクレジットを適用しています。この数字から、ワクチン運営および売上債権の売却プログラムに関係して当社が第三者に代わり一時的に保有している現金を除いた現金及び現金同等物、およびその他の金融資産に計上され公正価値ヒエラルキーのレベル1に区分される債券投資を控除し、調整後純有利子負債を算出しています。

当社グループが、純有利子負債および調整後純有利子負債を表示する理由は、当社グループの経営陣が、当社グループの現金及び現金同等物控除後の負債をモニター及び分析するためにこれらの指標を使用し、また当社グループのレバレッジをモニターするために本指標を調整後EBITDAと併せて使用しており、投資家にとって有用であると考えているためです（なお、調整後純有利子負債および調整後純有利子負債/調整後EBITDA倍率は、当社グループの流動性の指標を表すものではないことにご留意ください）。また、負債についての同様の指標が、証券アナリスト、投資家その他の関係者が製薬業界における各社の評価を行うに際して頻繁に用いられるものであると考えています。特に、Shire社買収に伴い、投資家、アナリストおよび格付機関は、当社グループの（調整後純有利子負債/調整後EBITDA倍率で表される）財務レバレッジを綿密にモニターしています。格付機関が本指標を特に重視していることから、これらの情報は、当社グループの財務レバレッジだけではなく、格付機関が当社グループの信用力評価にあたって財務レバレッジの水準をどのように評価しているかについて、投資家が理解していただけにあたり有用であると考えています。そのため、後述のとおり、当社グループは、調整後純有利子負債を調整して、格付機関が一部の劣後債に適用している「エクイティクレジット」を反映しています（ただし、IFRS上、当該債務は資本として取り扱われません）。

調整後純有利子負債の有用性には、一例として次の限界があります。例えば、(i) 同業他社を含め、用いられている類似の指標との比較可能性に欠け得るもので、(ii) 当社グループの負債に係る利息の金額を反映していません、(iii) 負債の早期返済又は償還に係る制限を反映していません、(iv) 当社グループが現金同等物を現金に換金する際に、現金のある通貨から他の通貨に換金する際に、又は当社グループ内で現金を移動する際に係る手数料や費用を反映していません、(v) 有利子負債には、資金調達の契約と整合性のある平均為替レートを適用・調整していますが、これは当社グループがある通貨を他の通貨に換金することができる実際の為替レートを反映していません、(vi) 当社グループの劣後債はIFRS上資本として取り扱われないものの、エクイティクレジットを反映しています。当該調整は、合理的で、投資家にとって有用な調整であると考えています。調整後純有利子負債は、IFRSに基づく指標である社債及び借入金、又はその他の負債指標と切り離して考慮してはならず、また、これらの代替と捉えてはならないものです。IFRSに準拠した指標の中で、純有利子負債は、社債及び借入金が最も類似します。

## 便宜的な米ドル換算

財務補足資料における一部日本円表示の米ドルへの換算は、読者に対して便宜的に表示するためのものであり、ニューヨーク連邦準備銀行によって認証されている2025年12月31日時点の換算レート「Noon Buying Rate：1米ドル156.80円」で換算しています。便宜的な米ドル換算に用いられている換算レートおよび方法は、要約四半期連結財務諸表の作成で用いられた国際会計基準（IFRS）に準拠した換算レートおよび方法とは異なります。また、これらの米ドル換算は、円貨額が上記もしくはそれ以外の換算レートを用いて米ドルへ転換できるということを意味するものではありません。

# 2025年度第3四半期累計 財務ベース業績 (CERベース増減率を含む)



(億円、EPS以外)	2024年度 第3四半期累計	2025年度 第3四半期累計	AERベース		CERベース	(百万米ドル、 EPS以外) 2025年度 第3四半期累計 便易的な米ドル換算
			増減額	増減率	増減率	
売上収益	35,282	34,112	△1,170	△3.3 %	△2.8 %	21,755
売上原価	△11,981	△11,659	323	2.7 %	2.4 %	△7,435
売上総利益	23,300	22,453	△847	△3.6 %	△3.0 %	14,319
対売上収益比率	66.0 %	65.8 %		△0.2 pp	△0.2 pp	65.8 %
販売費及び一般管理費	△8,089	△7,922	167	2.1 %	1.3 %	△5,052
研究開発費	△5,142	△4,806	336	6.5 %	5.1 %	△3,065
製品に係る無形資産償却費	△4,117	△3,969	147	3.6 %	2.3 %	△2,531
製品(注)に係る無形資産減損損失	△285	△818	△533	△186.9 %	△182.2 %	△522
その他の営業収益	162	227	64	39.7 %	40.3 %	145
その他の営業費用	△1,654	△940	714	43.2 %	42.8 %	△600
営業利益	4,175	4,224	49	1.2 %	0.1 %	2,694
対売上収益比率	11.8 %	12.4 %		0.5 pp	0.4 pp	12.4 %
金融収益	278	2,060	1,782	641.0 %	642.1 %	1,314
金融費用	△1,597	△3,139	△1,542	△96.5 %	△99.6 %	△2,002
持分法による投資損益	△32	△18	14	43.2 %	53.5 %	△12
税引前四半期利益	2,824	3,127	303	10.7 %	7.7 %	1,994
法人所得税費用	△711	△964	△252	△35.5 %	△26.4 %	△615
四半期利益	2,112	2,163	50	2.4 %	1.4 %	1,379
非支配持分	△2	△2	△0	△27.3 %	△35.9 %	△1
四半期利益(親会社の所有者持分)	2,111	2,161	50	2.4 %	1.4 %	1,378
基本的 EPS(円または米ドル)	133.71	137.31	3.60	2.7 %	1.7 %	0.88

(注) 仕掛研究開発品を含みます。

国際会計基準に準拠した実勢レート (Actual Exchange Rate) ベースの増減額および増減率は「AER」の表記で示し、国際会計基準に準拠しない恒常為替レート (Constant Exchange Rate) ベースの増減率は「CER」の表記で示しています。「CERベースの増減」の定義については、「国際会計基準に準拠しない財務指標、便易的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください。

増減率(%)は、利益に対してプラスであれば正で、利益に対してマイナスであれば負で表示しています。

# 2025年度第3四半期（10-12月）財務ベース業績（CERベース増減率を含む）



(億円、EPS以外)	2024年度 第3四半期 (10-12月)	2025年度 第3四半期 (10-12月)	AERベース		CERベース 増減率	(百万米ドル、 EPS以外) 2025年度 第3四半期(10-12月) 便易的な米ドル換算
			増減額	増減率		
売上収益	11,441	11,917	476	4.2 %	△0.6 %	7,600
売上原価	△4,169	△4,011	157	3.8 %	8.5 %	△2,558
売上総利益	7,273	7,906	633	8.7 %	3.9 %	5,042
対売上収益比率	63.6 %	66.3 %		2.8 pp	2.9 pp	66.3 %
販売費及び一般管理費	△2,706	△2,828	△122	△4.5 %	△0.1 %	△1,803
研究開発費	△1,702	△1,752	△50	△3.0 %	0.2 %	△1,118
製品に係る無形資産償却費	△1,342	△1,362	△20	△1.5 %	2.7 %	△868
製品 <sup>(注)</sup> に係る無形資産減損損失	△7	△58	△50	△671.6 %	△642.6 %	△37
その他の営業収益	24	△9	△32	—	—	△5
その他の営業費用	△870	△209	660	75.9 %	77.0 %	△134
営業利益	669	1,688	1,019	152.2 %	136.7 %	1,077
対売上収益比率	5.9 %	14.2 %		8.3 pp	8.1 pp	14.2 %
金融収益	252	883	631	250.5 %	250.1 %	563
金融費用	△638	△1,241	△603	△94.6 %	△100.0 %	△791
持分法による投資損益	△20	8	28	—	—	5
税引前四半期利益	264	1,339	1,075	406.9 %	354.4 %	854
法人所得税費用	△26	△301	△276	△1,071.4 %	△913.5 %	△192
四半期利益	238	1,037	799	335.2 %	294.1 %	662
非支配持分	△0	△1	△0	△103.1 %	△114.5 %	△1
四半期利益（親会社の所有者持分）	238	1,036	799	335.7 %	294.4 %	661
基本的 EPS（円または米ドル）	15.01	65.61	50.60	337.2 %	295.8 %	0.42

(注) 仕掛研究開発品を含みます。

国際会計基準に準拠した実勢レート (Actual Exchange Rate) ベースの増減額および増減率は「AER」の表記で示し、国際会計基準に準拠しない恒常為替レート (Constant Exchange Rate) ベースの増減率は「CER」の表記で示しています。「CERベースの増減」の定義については、「国際会計基準に準拠しない財務指標、便易的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください。

増減率（%）は、利益に対してプラスであれば正で、利益に対してマイナスであれば負で表示しています。

# 2025年度第3四半期累計 Core業績 (CERベース増減率を含む)



(億円、EPS以外)	2024年度 第3四半期累計	2025年度 第3四半期累計	AERベース		CERベース	(百万米ドル、 EPS以外) 2025年度 第3四半期累計 便直的な米ドル換算
			増減額	増減率	増減率	
売上収益	35,282	34,112	△1,170	△3.3 %	△2.8 %	21,755
売上原価	△11,983	△11,664	320	2.7 %	2.4 %	△7,438
売上総利益	23,298	22,448	△850	△3.6 %	△3.0 %	14,316
対売上収益比率	66.0 %	65.8 %		△0.2 pp	△0.2 pp	65.8 %
販売費及び一般管理費	△8,092	△7,925	167	2.1 %	1.3 %	△5,054
研究開発費	△5,143	△4,807	336	6.5 %	5.1 %	△3,066
営業利益	10,063	9,716	△347	△3.4 %	△3.4 %	6,196
対売上収益比率	28.5 %	28.5 %		△0.0 pp	△0.2 pp	28.5 %
金融収益	214	2,059	1,844	859.9 %	861.2 %	1,313
金融費用	△1,276	△3,048	△1,772	△138.9 %	△142.7 %	△1,944
持分法による投資損益	15	2	△13	△86.1 %	△61.1 %	1
税引前四半期利益	9,016	8,729	△288	△3.2 %	△3.6 %	5,567
法人所得税費用	△2,026	△1,991	35	1.7 %	4.5 %	△1,270
四半期利益	6,991	6,738	△253	△3.6 %	△3.4 %	4,297
非支配持分	△2	△2	△0	△27.3 %	△35.9 %	△1
四半期利益（親会社の所有者持分）	6,989	6,736	△253	△3.6 %	△3.4 %	4,296
基本的 EPS (円または米ドル)	443	428	△15	△3.3 %	△3.1 %	2.73

国際会計基準に準拠した実勢レート (Actual Exchange Rate) ベースの増減額および増減率は「AER」の表記で示し、国際会計基準に準拠しない恒常為替レート (Constant Exchange Rate) ベースの増減率は「CER」の表記で示しています。「CERベースの増減」の定義については、「国際会計基準に準拠しない財務指標、便直的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください。

増減率(%)は、利益に対してプラスであれば正で、利益に対してマイナスであれば負で表示しています。

# 2025年度第3四半期（10-12月）Core業績（CERベース増減率を含む）



(億円、EPS以外)	2024年度 第3四半期 (10-12月)	2025年度 第3四半期 (10-12月)	AERベース		CERベース 増減率	(百万米ドル、 EPS以外) 2025年度 第3四半期(10-12月) 便直的な米ドル換算
			増減額	増減率		
売上収益	11,441	11,917	476	4.2 %	△0.6 %	7,600
売上原価	△4,169	△4,012	157	3.8 %	8.5 %	△2,559
売上総利益	7,272	7,905	633	8.7 %	3.9 %	5,041
対売上収益比率	63.6 %	66.3 %		2.8 pp	2.9 pp	66.3 %
販売費及び一般管理費	△2,707	△2,828	△122	△4.5 %	△0.1 %	△1,804
研究開発費	△1,702	△1,752	△50	△2.9 %	0.2 %	△1,118
営業利益	2,864	3,324	461	16.1 %	10.1 %	2,120
対売上収益比率	25.0 %	27.9 %		2.9 pp	2.7 pp	27.9 %
金融収益	238	887	649	273.4 %	272.9 %	566
金融費用	△566	△1,205	△639	△112.9 %	△119.1 %	△769
持分法による投資損益	△1	8	9	—	—	5
税引前四半期利益	2,534	3,014	480	19.0 %	10.7 %	1,922
法人所得税費用	△435	△663	△228	△52.5 %	△38.1 %	△423
四半期利益	2,099	2,351	252	12.0 %	5.1 %	1,499
非支配持分	△0	△1	△0	△103.1 %	△114.5 %	△1
四半期利益（親会社の所有者持分）	2,098	2,350	251	12.0 %	5.1 %	1,498
基本的 EPS (円または米ドル)	132	149	16	12.4 %	5.4 %	0.95

国際会計基準に準拠した実勢レート (Actual Exchange Rate) ベースの増減額および増減率は「AER」の表記で示し、国際会計基準に準拠しない恒常為替レート (Constant Exchange Rate) ベースの増減率は「CER」の表記で示しています。「CERベースの増減」の定義については、「国際会計基準に準拠しない財務指標、便直的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください。

増減率 (%) は、利益に対してプラスであれば正で、利益に対してマイナスであれば負で表示しています。

## 2025年度第3四半期累計 財務ベースからCoreへの調整表



(億円、EPSおよび株式数以外)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整				Core
		無形資産に 係る償却費	無形資産に 係る減損損失	その他の 営業収益/ 費用	その他	
売上収益	34,112					34,112
売上原価	△11,659				△5	△11,664
売上総利益	22,453				△5	22,448
販売費及び一般管理費	△7,922				△3	△7,925
研究開発費	△4,806				△1	△4,807
製品に係る無形資産償却費	△3,969	3,969				—
製品 <sup>(注)</sup> に係る無形資産減損損失	△818		818			—
その他の営業収益	227			△227		—
その他の営業費用	△940			940		—
営業利益	4,224	3,969	818	714	△9	9,716
対売上収益比率	12.4%					28.5%
金融収益及び費用（純額）	△1,079				89	△989
持分法による投資損益	△18				20	2
税引前四半期利益	3,127	3,969	818	714	101	8,729
法人所得税費用	△964	△799	△62	△128	△38	△1,991
非支配持分	△2					△2
四半期利益（親会社の所有者持分）	2,161	3,170	756	586	63	6,736
基本的EPS（円）	137					428
株式数（百万）	1,574					1,574

(注) 仕掛研究開発品を含みます。

## 2025年度第3四半期（10-12月）財務ベースからCoreへの調整表



(億円、EPSおよび株式数以外)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整				Core
		無形資産に 係る償却費	無形資産に 係る減損損失	その他の 営業収益/ 費用	その他	
売上収益	11,917					11,917
売上原価	△4,011				△1	△4,012
売上総利益	7,906				△1	7,905
販売費及び一般管理費	△2,828				△1	△2,828
研究開発費	△1,752				△0	△1,752
製品に係る無形資産償却費	△1,362	1,362				—
製品 <sup>(注)</sup> に係る無形資産減損損失	△58		58			—
その他の営業収益	△9			9		—
その他の営業費用	△209			209		—
営業利益	1,688	1,362	58	218	△1	3,324
対売上収益比率	14.2%					27.9%
金融収益及び費用（純額）	△358				39	△318
持分法による投資損益	8				△0	8
税引前四半期利益	1,339	1,362	58	218	38	3,014
法人所得税費用	△301	△275	△12	△51	△24	△663
非支配持分	△1					△1
四半期利益（親会社の所有者持分）	1,036	1,087	45	167	14	2,350
基本的EPS（円）	66					149
株式数（百万）	1,580					1,580

(注) 仕掛研究開発品を含みます。

# 2024年度第3四半期累計 財務ベースからCoreへの調整表



(億円、EPSおよび株式数以外)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整					Core
		無形資産に 係る償却費	無形資産に 係る減損損失	テバ社との合弁会社 に係る調整影響 <sup>(注)2</sup>	その他の 営業収益/ 費用	その他	
売上収益	35,282						35,282
売上原価	△11,981					△2	△11,983
売上総利益	23,300					△2	23,298
販売費及び一般管理費	△8,089					△3	△8,092
研究開発費	△5,142					△1	△5,143
製品に係る無形資産償却費	△4,117	4,117					—
製品 <sup>(注)1</sup> に係る無形資産減損損失	△285		285				—
その他の営業収益	162				△162		—
その他の営業費用	△1,654				1,654		—
営業利益	4,175	4,117	285		1,492	△6	10,063
対売上収益比率	11.8%						28.5%
金融収益及び費用（純額）	△1,319			194		64	△1,062
持分法による投資損益	△32					47	15
税引前四半期利益	2,824	4,117	285	194	1,492	105	9,016
法人所得税費用	△711	△862	△82	△59	△365	53	△2,026
非支配持分	△2						△2
四半期利益（親会社の所有者持分）	2,111	3,255	203	134	1,127	159	6,989
基本的EPS（円）	134						443
株式数（百万）	1,579						1,579

(注) 1 仕掛研究開発品を含みます。

2 武田テバファーマ株式会社株式を売却目的で保有する資産に分類したことに伴い、2024年度第3四半期累計に計上した194億円の減損損失です。

# 2024年度第3四半期（10-12月）財務ベースからCoreへの調整表



(億円、EPSおよび株式数以外)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整					Core
		無形資産に 係る償却費	無形資産に 係る減損損失	テバ社との合弁会社 に係る調整影響 <sup>(注)2</sup>	その他の 営業収益/ 費用	その他	
売上収益	11,441						11,441
売上原価	△4,169					△0	△4,169
売上総利益	7,273					△0	7,272
販売費及び一般管理費	△2,706					△1	△2,707
研究開発費	△1,702					△0	△1,702
製品に係る無形資産償却費	△1,342	1,342					—
製品 <sup>(注)1</sup> に係る無形資産減損損失	△7		7				—
その他の営業収益	24				△24		—
その他の営業費用	△870				870		—
営業利益	669	1,342	7		846	△1	2,864
対売上収益比率	5.9%						25.0%
金融収益及び費用（純額）	△386			10		47	△329
持分法による投資損益	△20					18	△ 1
税引前四半期利益	264	1,342	7	10	846	64	2,534
法人所得税費用	△26	△281	△2	△3	△218	95	△435
非支配持分	△0						△0
四半期利益（親会社の所有者持分）	238	1,061	5	7	628	159	2,098
基本的EPS（円）	15						132
株式数（百万）	1,585						1,585

(注) 1 仕掛研究開発品を含みます。

2 武田テバファーマ株式会社株式を売却目的で保有する資産に分類したことに伴い、2024年度第3四半期に計上した10億円の減損損失です。

# 2025年度第3四半期累計 調整後フリー・キャッシュ・フロー



(億円)	2024年度 第3四半期累計	2025年度 第3四半期累計	増減額	増減率	(百万米ドル) 2025年度 第3四半期累計 便宜的な米ドル換算
当期利益	2,112	2,163	50	2.4%	1,379
減価償却費、償却費及び減損損失	6,099	6,520	422		4,158
運転資本増減（△は増加）	△925	△606	319		△386
法人所得税等の支払額	△1,203	△1,159	44		△739
法人所得税等の還付及び還付加算金の受取額	182	75	△107		48
その他	2,086	2,676	590		1,707
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,350	9,669	1,319	15.8%	6,166
有形固定資産の取得による支出	△1,520	△1,296	224		△827
フリー・キャッシュ・フロー <sup>(注) 1</sup>	6,830	8,373	1,542	22.6%	5,340
当社が第三者に代わり一時的に保有するキャッシュの調整 <sup>(注) 2</sup>	△9	△206	△197		△131
有形固定資産の売却による収入	0	64	64		41
無形資産の取得による支出 <sup>(注) 3</sup>	△1,031	△2,180	△1,149		△1,390
ライセンスを獲得するためのオプションの取得による支出	△318	△26	292		△17
投資の取得による支出 <sup>(注) 4</sup>	△152	△152	1		△97
投資の売却、償還による収入	267	56	△211		36
関連会社株式の取得による支出	—	△6	△6		△4
関連会社株式の売却による収入	—	9	9		6
事業売却による収入（処分した現金及び現金同等物控除後）	96	328	232		209
調整後フリー・キャッシュ・フロー <sup>(注) 1</sup>	5,683	6,259	576	10.1%	3,992

(注) 1 フリー・キャッシュ・フローおよび調整後フリー・キャッシュ・フローの定義については、「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください。

2 当社が第三者に代わり一時的に保有するキャッシュの調整は、当社が即時のまたは一般的な業務用に使用できない、ワクチン運営および売上債権の売却プログラムに関する当社が第三者に代わり一時的に保有する現金の変動を指します。

3 一部の重要性が低い取引を除き、無形資産の売却による収入は、営業活動によるキャッシュ・フローに含まれております。

4 2024年度第3四半期累計において、公正価値ヒエラルキーのレベル1に区分される債券投資の取得による支出801億円を控除しております。



## 2025年度第3四半期累計 調整後純有利子負債/調整後EBITDA

### 調整後純有利子負債/調整後EBITDA倍率

(億円)	2025年度 第3四半期累計
連結財政状態計算書上の社債及び借入金の簿価	△48,533
現金及び現金同等物	6,549
純有利子負債 <sup>(注) 1</sup>	△41,984
エクイティクレジットの適用 <sup>(注) 2</sup>	2,500
為替調整 <sup>(注) 3</sup>	2,174
当社が第三者に代わり一時に保有する現金 <sup>(注) 4</sup>	△1,263
レベル1 負債性金融商品 <sup>(注) 4</sup>	838
調整後純有利子負債 <sup>(注) 1</sup>	△37,736
調整後EBITDA (LTM) <sup>(注) 5</sup>	14,045
調整後純有利子負債/調整後EBITDA倍率	2.7 ×
連結財政状態計算書上の社債及び借入金の簿価	△48,533
エクイティクレジットの適用 <sup>(注) 2</sup>	2,500
為替調整 <sup>(注) 3</sup>	2,174
調整後有利子負債	△43,859

### 現金及び現金同等物の純増減

(億円)	2024年度 第3四半期累計	2025年度 第3四半期累計	増減額	増減率
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,350	9,669	1,319	15.8%
有形固定資産の取得による支出	△1,520	△1,296		
有形固定資産の売却による収入	0	64		
無形資産の取得による支出	△1,031	△2,180		
ライセンスを獲得するためのオプションの取得による支出	△318	△26		
投資の取得による支出	△954	△152		
投資の売却、償還による収入	267	56		
関連会社株式の取得による支出	—	△6		
関連会社株式の売却による収入	—	9		
事業売却による収入（処分した現金及び現金同等物控除後）	96	328		
純投資ヘッジとして指定された先物為替予約の決済による支出	△139	△15		
短期借入金及びコマーシャルペーパーの純増減額	△3,170	△3,418		
長期借入れによる収入	900	—		
長期借入金の返済による支出	△502	△101		
社債の発行による収入	9,345	5,261		
社債の償還による支出	△7,338	△1,153		
社債及び借入金に係る金利通貨スワップの決済による収入	469	—		
自己株式の取得による支出	△19	△516		
利息の支払額	△781	△821		
配当金の支払額	△2,928	△3,031		
その他	△346	△306		
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	380	2,365	1,984	522.1%

(注) 1 純有利子負債および調整後純有利子負債の定義については、「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください。

2 ハイブリッド（劣後）社債及びローンの元本総額5,000億円分について、S&Pグローバル・レーティング・ジャパン（格付機関）より認定された50%のエクイティクレジットを適用し、2,500億円を負債から控除しております。これらの金融負債は、レバレッジ評価において一定のエクイティクレジットが認められております。

3 期中平均レートで換算される調整後EBITDA計算と整合させるため、期初から残存する外貨建て負債を期中平均レートを用いて換算しております。報告期間中に計上した新規の外貨建て負債および償還した既存の外貨建て負債については当該日の対応するスポットレートを用いて換算しております。

4 ワクチン運営および売上債権の売却プログラムに関係して当社が第三者に代わり一時に保有する、即時的または一般的な業務用に使用できない現金、およびその他の金融資産に計上され公正価値ヒエラルキーのレベル1に区分される債券投資を調整しております。

5 2025年12月までの過去12ヶ月（LTM: Last Twelve Months）を示しており、2024年度通期から2024年度第3四半期累計を控除し、2025年度第3四半期累計を加算して算出しております。



## 2024年度 調整後純有利子負債/調整後EBITDA

### 調整後純有利子負債/調整後EBITDA倍率

(億円)	2024年度
連結財政状態計算書上の社債及び借入金の簿価	△45,153
現金及び現金同等物	3,851
純有利子負債 <sup>(注) 1</sup>	△41,302
エクイティクレジットの適用 <sup>(注) 2</sup>	2,500
為替調整 <sup>(注) 3</sup>	△689
当社が第三者に代わり一時的に保有する現金 <sup>(注) 4</sup>	△1,058
レベル1 負債性金融商品 <sup>(注) 4</sup>	793
調整後純有利子負債 <sup>(注) 1</sup>	△39,755
調整後EBITDA	14,410
調整後純有利子負債/調整後EBITDA倍率	2.8 ×
連結財政状態計算書上の社債及び借入金の簿価	△45,153
エクイティクレジットの適用 <sup>(注) 2</sup>	2,500
為替調整 <sup>(注) 3</sup>	△689
調整後有利子負債	△43,342

### 現金及び現金同等物の純増減

(億円)	2023年度	2024年度	増減額	増減率
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,163	10,572	3,408	47.6%
有形固定資産の取得による支出	△1,754	△2,008		
有形固定資産の売却による収入	86	1		
無形資産の取得による支出	△3,053	△1,470		
ライセンスを獲得するためのオプションの取得による支出	—	△318		
投資の取得による支出	△68	△975		
投資の売却、償還による収入	80	294		
関連会社株式の取得による支出	—	△10		
関連会社株式の売却による収入	—	577		
事業売却による収入（処分した現金及び現金同等物控除後）	200	206		
純投資ヘッジとして指定された先物為替予約の決済による支出	△333	△138		
短期借入金及びコマーシャルペーパーの純増減額	2,770	275		
長期借入れによる収入	1,000	900		
長期借入金の返済による支出	△1,004	△5,872		
社債の発行による収入	—	9,345		
社債の償還による支出	△2,205	△7,338		
社債及び借入金に係る金利通貨スワップの決済による収入	601	469		
自己株式の取得による支出	△23	△519		
利息の支払額	△1,004	△1,130		
配当金の支払額	△2,872	△3,025		
その他	△603	△446		
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,019	△613	406	39.9%

(注) 1 純有利子負債および調整後純有利子負債の定義については、「国際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」をご参照ください。

2 ハイブリッド（劣後）社債及びローンの元本総額5,000億円分について、S&Pグローバル・レーティング・ジャパン（格付機関）より認定された50%のエクイティクレジットを適用し、2,500億円を負債から控除しております。これらの金融負債は、レバレッジ評価において一定のエクイティクレジットが認められております。

3 期中平均レートで換算される調整後EBITDA計算と整合させるため、期初から残存する外貨建て負債を期中平均レートを用いて換算しております。報告期間中に計上した新規の外貨建て負債および償還した既存の外貨建て負債については当該日の対応するスポットレートを用いて換算しております。

4 ワクチン運営および売上債権の売却プログラムに関する当社が第三者に代わり一時的に保有する、即時的または一般的な業務用に使用できない現金、およびその他の金融資産に計上され公正価値ヒエラルキーのレベル1に区分される債券投資を調整しております。

## 2025年度第3四半期累計 当期利益から調整後EBITDAへの調整



(億円)	2024年度 第3四半期累計	2025年度 第3四半期累計	増減額	増減率
当期利益	2,112	2,163	50	2.4 %
法人所得税費用	711	964		
減価償却費及び償却費	5,716	5,573		
純支払利息	878	973		
EBITDA	9,418	9,672	254	2.7 %
減損損失	382	948		
その他の営業収益及び費用（減価償却費及び償却費、減損損失を除く）	1,352	571		
金融収益及び費用（純支払利息を除く）	442	106		
持分法による投資損益	32	18		
その他の費用 <sup>(注)</sup>	518	511		
調整後EBITDA	12,144	11,827	△318	△2.6 %

(注) 株式報酬に係る非資金性の費用を含む非資金性項目、および企業結合会計影響や買収関連費用などの当社グループの中核事業に関連しないその他の項目の調整を含みます。

## 2025年度第3四半期累計 当期利益から調整後EBITDA（LTM）への調整



(億円)	2024年度 通期 (4-3月)	2024年度 第3四半期累計 (4-12月)	2025年度 第3四半期累計 (4-12月)	2025年度 第3四半期累計 LTM <sup>(注)1</sup> (1-12月)
当期利益	1,081	2,112	2,163	1,132
法人所得税費用	669	711	964	922
減価償却費及び償却費	7,614	5,716	5,573	7,470
純支払利息	1,177	878	973	1,272
EBITDA	10,542	9,418	9,672	10,796
減損損失	1,065	382	948	1,631
その他の営業収益及び費用（減価償却費及び償却費、減損損失を除く）	1,632	1,352	571	851
金融収益及び費用（純支払利息を除く）	458	442	106	123
持分法による投資損益	40	32	18	26
その他の費用 <sup>(注)2</sup>	674	518	511	667
調整後EBITDA	14,412	12,144	11,827	14,094
売却した製品に係るEBITDA <sup>(注)3</sup>	△2			△49
調整後EBITDA（LTM）	14,410			14,045

(注) 1 2025年12月までの過去12ヶ月（LTM: Last Twelve Months）を示しており、2024年度通期から2024年度第3四半期累計を控除し、2025年度第3四半期累計を加算して算出しております。

2 株式報酬に係る非資金性の費用を含む非資金性項目、および企業結合会計影響や買収関連費用などの当社グループの中核事業に関連しない他の項目の調整を含みます。

3 調整後EBITDAのLTM算出にあたり、売却した製品に係るEBITDAを調整しております。



## 2025年度第3四半期累計 資本的支出、減価償却費及び償却費、減損損失

(億円)	2024年度 第3四半期累計	2025年度 第3四半期累計	増減額	増減率	2025年度今回公表予想 (2026年1月29日)
資本的支出 <sup>(注) 1</sup>	2,551	3,476	925	36.3%	4,000 - 4,500
有形固定資産の増加額	1,520	1,296	△224	△14.7%	
無形資産の増加額	1,031	2,180	1,149	111.4%	
減価償却費及び償却費	5,716	5,573	△144	△2.5%	7,270
有形固定資産の減価償却費 <sup>(注) 2 (A)</sup>	1,307	1,297	△10	△0.8%	
無形資産の償却費 (B)	4,410	4,276	△133	△3.0%	
うち、製品に係る無形資産償却費 (C)	4,117	3,969	△147	△3.6%	5,070
うち、製品以外に係る無形資産償却費 (D)	293	307	14	4.7%	
減価償却費及び償却費 (製品に係る無形資産償却費を除く) (A)+(D)	1,600	1,603	4	0.2%	2,200
減損損失	382	948	566	148.0%	
うち、製品 <sup>(注) 3</sup> に係る無形資産減損損失	285	818	533	186.9%	1,100
製品に係る無形資産償却費及び減損損失	4,402	4,787	385	8.8%	6,170

(注) 1 キヤッキュ・フロー・ベース

2 投資不動産に係る減価償却費を含みます。

3 仕掛研究開発品を含みます。



## 2025年度業績予想（詳細）

(億円)	前回公表予想 (2025年10月30日)	今回公表予想 (2026年1月29日)	増減額	増減率	増減理由
売上収益	45,000	45,300	300	0.7%	為替によるプラス影響が、VVANSE、血漿分画製剤やタクザイロ等を含むその他の製品の売上高の見通しの引き下げを相殺し、増収要因となった
売上原価	△15,900	△15,950	△50	△0.3%	
売上総利益	29,100	29,350	250	0.9%	
販売費及び一般管理費	△10,950	△10,980	△30	△0.3%	
研究開発費	△6,850	△6,870	△20	△0.3%	
製品に係る無形資産償却費	△4,970	△5,070	△100	△2.0%	
製品（注） <sup>1</sup> に係る無形資産減損損失	△1,100	△1,100	—	—	
その他の営業収益	270	270	—	—	
その他の営業費用	△1,500	△1,500	—	—	
営業利益	4,000	4,100	100	2.5%	
金融収益及び費用（純額）	△1,560	△1,630	△70	△4.5%	主に為替影響による増加
税引前当期利益	2,430	2,450	20	0.8%	
当期利益（親会社の所有者持分）	1,530	1,540	10	0.7%	
基本的EPS(円)	97	98	1	0.7%	
Core売上収益（注） <sup>2</sup>	45,000	45,300	300	0.7%	為替によるプラス影響が、VVANSE、血漿分画製剤やタクザイロ等を含むその他の製品の売上高の見通しの引き下げを相殺し、増収要因となった
Core営業利益（注） <sup>2</sup>	11,300	11,500	200	1.8%	製品売上高の見通しは営業経費の節減効果でほぼ相殺され、為替によるプラス影響が寄与
Core EPS(円)（注） <sup>2</sup>	479	486	7	1.5%	
調整後フリー・キャッシュ・フロー（注） <sup>2</sup>	6,000～7,000	6,500～7,500			Core営業利益の上方修正分と運転資金の改善を反映
資本的支出（キャッシュ・フロー・ベース）	△4,000～△4,500	△4,000～△4,500			
有形固定資産の減価償却費及び無形資産償却費 (製品に係る無形資産償却費を除く)	△2,200	△2,200	—	—	
調整後EBITDAに対する現金税金の税率（事業売却を除く）（注） <sup>2</sup>	10%台半ば	10%台前半			最近の米国税制改正により、研究開発費の損金算入が前倒しとなり、現金税金が減少すると見込まれることを反映
米ドル/円	147	150	3	2.3%	
ユーロ/円	170	174	3	2.0%	

(注) 1 仕掛研究開発品を含みます。

2 國際会計基準に準拠しない財務指標の定義は「國際会計基準に準拠しない財務指標、便宜的な米ドル換算の定義および説明」を、調整表は「2025年度業績予想 財務ベース営業利益からCore営業利益への調整表」をご参照ください。



## 2025年度業績予想 財務ベース営業利益からCore営業利益への調整表

(億円)	財務ベース	財務ベースからCoreへの調整			Core
		無形資産 に係る 償却費	無形資産 に係る 減損損失	その他の 営業収益及び 営業費用	
売上収益	45,300				45,300
売上原価	△15,950				
売上総利益	29,350				△33,800
販売費及び一般管理費	△10,980				
研究開発費	△6,870				
製品に係る無形資産償却費	△5,070	5,070			—
製品 <sup>(注)</sup> に係る無形資産減損損失	△1,100		1,100		—
その他の営業収益	270			△270	—
その他の営業費用	△1,500			1,500	—
営業利益	4,100	5,070	1,100	1,230	11,500

(注) 仕掛研究開発品を含みます。

## 2025年度前提為替レートおよび通期予想に対する為替感応度

	平均レート（円）				為替円安影響（2026年1月～2026年3月）（億円）				
	2024年度 第3四半期実績 (4-12月)	2025年度 第3四半期実績 (4-12月)	2025年度 通期前提 (4-3月)	2025年度 第4四半期前提 (1-3月)		売上収益 (国際会計基準)	営業利益 (国際会計基準)	当期利益 (国際会計基準)	Core営業利益 (国際会計基準に 非準拠)
米ドル	152	148	150	157	1 %為替円安影響	40.1	△0.2	△1.3	5.8
					1 円為替円安影響	25.6	△0.1	△0.8	3.7
ユーロ	165	170	174	184	1 %為替円安影響	12.6	△5.4	△3.7	△3.5
					1 円為替円安影響	6.9	△2.9	△2.0	△1.9
ロシアルーブル	1.6	1.8	1.9	1.9		0.6	0.2	0.1	0.3
中国元	21.1	20.7	21.1	22.4	1 %為替円安影響	3.7	2.2	1.4	2.2
ブラジルレアル	27.9	27.0	27.4	28.6		2.0	1.3	0.8	1.4

Takeda Investor Relations: [takeda.ir.contact@takeda.com](mailto:takeda.ir.contact@takeda.com)



**Better Health, Brighter Future**

© 2026 Takeda Pharmaceutical Company Limited. All rights reserved.